

CRYSTAL EXE 南紀白浜 II

好評分譲中!

南紀白浜の地で、人生を謳歌する人のための
新しいレジデンス誕生!



セカンドハウスに!



週末だけ白浜に滞在し、レジャーや温泉を楽しんだり、Workationのための拠点として、セカンドライフの拠点としてもご利用いただけます。また、一般的な別荘とは違い、セカンドハウスの場合は一定の条件を満たしていれば、税の軽減措置や優遇税制の恩恵を受けることも可能です。



コンドミニウムシステム



オーナー様ご自身が使わない期間は、ホテルとして一般顧客に貸出します。

- メリット 1** 面倒な管理はすべて委託できます!
お部屋の管理から宿泊客の集客まで、リゾートライフに委託できるため、煩わしい作業や宿泊客の対応もありません。
- メリット 2** リゾートライフグループのオーナー特典
オーナー様だけが使用できる、さまざまな特典をご準備しております。

—— 詳細はホームページをご覧ください ——

Resort Life

※オーナー特典など詳しくは右記QRをご覧ください。



<https://resortlife.co.jp/condominium-system/>

クリスタルエグゼ
南紀白浜II
竣工記念

無料宿泊キャンペーン実施中!

南紀白浜1泊2日宿泊券プレゼント!

右記QRのアンケートに答えて抽選に応募!当選した方には「クリスタルヴィラ白浜」「灯りや」「クリスタルエグゼ南紀白浜I」でご利用できる宿泊券をプレゼントいたします!

毎月当選のチャンス!
【旅行日程】
4月初旬~9月末まで



今なら無料で宿泊できる!?

※完成予想図は設計図を基に描き起こしたもので官公庁の指導、施工上の都合等により建物の形状・色調等に変更が生じる場合があります。外観形状の細部・設備機器等は簡略化しております。

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第52巻第3号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

安藤嗣彦 6,200部

URL

<http://www.jinsenkai.net>

成長を願って



令和3年度 定期評議員会・総会開催のご案内 委任状の送付をお願いします。





学校法人大阪医科薬科大学
大阪医科大学
(現・大阪医科薬科大学)

創立100周年 記念事業募金

— 病院新本館建築 —



文字通り、ゼロからの出発
何もない更地に、学舎をつくる。重機などを
満足に調達できない中、多くの作業工程は学
生と職員による「手作り」。その姿は「人間の
手を介した医療」の象徴のようにも映ります。

since 1927 OMC History

- 1926 大正15年 大阪高等医学専門学校設立認可願提出
- 1927 昭和2年 財団法人大阪高等医学専門学校設置認可
大阪高等医学専門学校開校認可(修業年限5年)
- 1929 昭和4年 大阪高等医学専門学校附属看護婦学校設立認可
- 1930 昭和5年 本館、解剖館、別館、附属病院、臨床講堂竣工
三島病院(附属病院)開院
- 1935 昭和10年 本館屋上塔に大時計を設置
- 1941 昭和16年 新講堂と生理学実習室竣工
- 1946 昭和21年 大阪医科大学設置認可(旧制大学)
大阪医科大学 予科設置
- 1948 昭和23年 医学部開学認可
- 1950 昭和25年 附属看護婦学校(新制)開校
- 1951 昭和26年 学校法人大阪医科大学認可(組織変更による)
学校法人高槻高等学校認可
附属看護婦学校(新制度乙種)設置認可
- 1952 昭和27年 大阪医科大学設置認可(新制大学)現在に至る
大阪高等医学専門学校廃校
- 1956 昭和31年 学位規程制定認可
- 1959 昭和34年 大阪医科大学大学院医学研究科設置認可
- 1965 昭和40年 大阪医科大学進学課程設置認可
- 1968 昭和43年 京都大学化学研究所跡土地建物と等価交換
講義実習棟竣工
- 1975 昭和50年 創立50周年記念式典開催
- 1977 昭和52年 大阪医科大学附属看護専門学校設置認可
- 1978 昭和53年 体育館竣工
- 1979 昭和54年 大阪医科大学附属看護専門学校3年課程(全日制)設置認可
- 1982 昭和57年 総合研究棟竣工
- 1990 平成2年 特定機能病院承認
- 1994 平成6年 本館・図書館棟竣工
- 1997 平成9年 創立70周年記念式典開催

- 2003 平成15年 別館が国の有形文化財に登録
- 2005 平成17年 大阪医科大学附属看護専門学校新校舎竣工
病院7号館竣工
新講義実習棟竣工
歴史資料館設置
- 2006 平成18年 創立80周年
- 2007 平成19年 大阪医科大学健康科学クリニック開設
- 2009 平成21年 大阪医科大学看護学部設置認可
大阪医科大学附属看護専門学校閉校
- 2012 平成24年 大阪医科大学大学院看護学研究科設置認可
- 2013 平成25年 学校法人大阪医科大学と学校法人高槻高等学校の法人合併
- 2014 平成26年 大阪医科大学訪問看護ステーション開設
- 2015 平成27年 大阪医科大学三島南病院開設
中央手術棟竣工
- 2016 平成28年 学校法人大阪医科大学と学校法人大阪薬科大学の法人合併
創立90周年記念式典開催
- 2017 平成29年 関西BNCT共同医療センター竣工
- 2018 平成30年
- 2021 令和3年 大阪薬科大学と統合「大阪医科薬科大学」に改名



2027



ご支援のお願い

大阪医科大学(現・大阪医科薬科大学)は、私立大学として篤志家によって設立され、卒業生のお力添えをいただきながら、維持・運営され、成長してきた歴史があります。皆さまの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

要項	
募金目的	大学病院新本館建築に係る資金の一部、並びに学生支援体制の充実を図る
募金目標額	10億円
募集期間	2018年10月~2027年3月
金額	個人 1口1万円、法人 1口10万円
顕彰	個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします
特典	個人10口以上、法人5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料受診券を進呈します。

申込方法	
https://www.omp.ac.jp/donation/index.html	
税制上の優遇措置	
学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人であり、大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。	

目次

- P4 学長退任のご挨拶 大阪医科大学学長 大槻勝紀
- P5 学長就任のご挨拶 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一
- P7 令和3年度定期評議員会・総会開催のご案内、委任状ご提出のお願い
- P12 祝・大阪医科薬科大学教授ご就任! 星賀正明先生(学34期)
- P13 祝・自治医科大学教授ご就任! 松木 充先生(学40期)
- P14 祝・大阪医科薬科大学教授ご就任! 喜田照代先生(学45期)
- 祝・卒業 令和2年度卒業証書・学位記授与式
- P15 学長告辞 大阪医科大学学長 大槻勝紀
- P17 祝辞 一般社団法人大阪医科大学仁泉会理事長 安藤嗣彦
- P18 開業しました 黒川晃夫先生(学43期)
- 仁泉ひろば
- P20 耳が聞こえなくなった5日間 前田義雄(高16期)
- P21 「諺」考 西村 保(学4期)
- P22 親友k君の思いで 大澤 直(学14期)
- P28 学26期(昭和52年卒)同期会の延期のご案内
- P30 ヘアターニケット兎相による誤認保護の顛末 鈴木廣一(学29期)
- 事業報告
- P32 学生生活虎の巻 その九
- P34 東雲出張版
- P35 会員著書 岡田 定先生(学30期)
- P35 新聞切抜 一ノ名 正先生(学31期)
- P36 新聞切抜 奥村隆司先生(学31期)・東川雅彦先生(学34期)
- P37 新聞切抜 森脇真一先生(学35期)
- P39 冊子切抜 川畑 香先生(学39期)
- P40 まんが ほん太カード(学31期)
- 本部だより
- P41 会員計報
- P43 編集後記

学長退任のご挨拶 大阪医科大学学長 大槻勝紀

仁泉会の皆様へ

本年4月1日に本学は大阪薬科大学と合併して大阪医科薬科大学になるため、私は本年3月末で学長を退任いたします。本学とは学生時代を含めて50年間お世話になってきました。本学産婦人科学教室に入局した当時は漠然と産婦人科医として勤務することしか考えていませんでしたが、まさか大学院時代を解剖学教室で過ごし、その後も解剖学教室に異動し教育者になるとは想像すらしていませんでした。ご縁があって学長に就任させていただき今日を迎えました。この半世紀の間、本法人理事として救急の時間外受付に関する委員会委員長、精神神経科経営強化委員会委員長、BNCT拠点設置準備委員会委員長およびNICU補助金解明委員会委員長を務めました。教学においては平成16年学生部長、研究機構副機構長、平成17年学務部長、平成19年教育機構長、広報・入試センター長、平成25年広報・入試部長を兼務し、学外では平成19年に東京医科大学客員教授に就任しました。仁泉会とは、研究者の時に幾度か仁泉会学術奨励賞をいただき、また仁泉会理事として関わりを持たせていただき感謝申し上げます。

学長に就任した際、5つの教学方針（Innovation：教学改革，Translational Research：研究の活性化，Social Contribution：社会貢献，Globalization：国際化，Open Mind：情報の共有化）を公表しました。この6年の間、教職員や法人のご協力により、それなりの成果を上げてきたと自負しています。教育については2016年7月に第48回日本医学教育学会大会を本学で開催し、2019年2月に日本医学教育分野別評価の認証を受領するとともに、2020年10月に機関別認証評価を受審し高い評価をいただきました。ご存知のように昨年の医師国家試験の新卒・既卒の合格率はともに100%であり、本学創立以来の慶事でした。新卒100%は自治医大、産業医大と本学の3大学だけでした。研究においては文部科学省科学研究費をこの6年で2倍に採択数をあげ、3人に1人は科研費に採択されるようになりました。それ以外の国の助成金の獲得も順調で、昨年は私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：教育



の質、タイプ2：特色ある高度な研究、タイプ3：地域社会への貢献、タイプ4：産学連携）においてタイプ1~4まですべてに採択された大学は本学を含めて全私立大学約600校で6大学のみでした。今年はタイプ3と4に採択されました。社会貢献においては6年前から地域医療支援プロジェクトとして兵庫県や高知県に医師派遣を行い、地域医療に貢献しています。高槻市においては私立大学研究ブランディング事業として健康寿命の延伸を目指した「たかつきモデル」が採択されるとともに高槻市とサステナビリティ事業の協定を結び、高槻市民の健康増進のための市民活動を行っています。国際化では昨年、国立台湾大学と単位互換の協定を結び、医学部生が相手先の臨床実習を受けて、単位を取得しています。今後はシンガポール大学やマヒドン大学と単位互換の協定を結ぶ予定です。Open Mindですが、毎年、年2回学生を交えた教育研究集会を開催し、教学の情報を共有するとともに、学生や教職員からの声を聴く機会になっています。

最後になりましたがこれまでご支援いただきました仁泉会の皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、皆様方の今後のご健康とご多幸を祈念して学長退任の挨拶とさせていただきます。

学長就任のご挨拶 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

この度、皆様のご理解を得て大阪医科大学と大阪薬科大学が統合されました。統合によって誕生した大阪医科薬科大学の学長に就任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

大阪医科大学は、昭和2年(1927年)に日本初の五年制高等医学専門学校として開設され、昭和21年(1946年)に旧制大学に昇格し、様々な議論の末に昭和6年(1931年)に閉校になった大阪府立の医科大学の名称を借りたと聴いています。その後、昭和27年(1952年)には大学名称をそのままとして新制大学に移行しました。一方、大阪薬科大学は、明治37年(1904年)に大阪道修薬学校として開設され、帝国女子薬学専門学校、帝国薬学専門学校を経て、昭和25年(1950年)に新制大学に昇格しました。昭和21年(1946年)に蛭池にあった大阪薬学専門学校の旧制大阪薬科大学昇格構想が事情により実現しなかったことから、独自に大阪薬科大学の名称を冠したそうです。両大学とも長年にわたり単科大学として優秀な医師、薬剤師、看護師、研究者はもとより、政人、大臣など3万6千余名の人材を輩出し、広い分野において着実な成果を上げてきたところです。

大学統合によって、大阪医科薬科大学は、医学部、薬学部、看護学部並びにそれぞれの大学院研究科を擁し、3000人を超える学生の教育に当たることとなります。これからは医療系の新学部設置も念頭に置いて、最優の医療系総合大学を目指してまいります。両大学の医学部と薬学部では、それぞれの学長が学部の校務を司ってきました。各学部の教育研究に関しては、各学部に学校教育法第92条に基づく学部長を置いて学部の校務の管理運営の一部を委任し、学長は私立学校法第38条に基づく理事として、学校法人の目的を達成するため、法人の中長期計画に基づいて、法人と各学部との連携強化に加え、三学部間の調整や三学部の融和を図ることとなります。

学校法人大阪医科薬科大学の中長期計画では、各学部の計画に加え、学部を横断した大学全体の課題があります。加えて、薬学部の移転を含む安満キャンパス構想や新学部設置構想と同時に、国が強力に推し進めている耐震化率100%に対応しつつ本部キャンパス整備も必要です。それらの構想を実現するためには、総合



大学としての体制の確立が喫緊の課題となります。ISO26000と国連のSDGsに基づいて世界を牽引するような教育研究診療を発信する医療系総合大学を目指さなければならないと考えております。仁泉会の皆様におかれましては倍旧のご理解とご高配を賜りますようよろしくお願いいたします。

医学部に関する課題としては、医師法の改正（第17の2）により令和5年4月から「共用試験に合格した医学生が臨床実習として医業を行うことができる」こととなり、令和7年度から「共用試験に合格していることを医師国家試験の受験要件とする」ことになるとされており、臨床教育体制の一層の充実が必要となります。また、近い将来には医学部臨時定員の削減が見込まれることから財政基盤を見直さなくてはなりません。独自の臨床研究体制に関しては小児高次機能研究所やBNCT共同臨床研究所と大学の連携あるいは産学連携によって世界に向けた情報発信ができるよう一層の強化が求められており、医学部長には財政面も含め大学全体を俯瞰しながら医学部運営に当たっていただきます。

大阪医科薬科大学医学部は米国風に訳せば、School of Medicine, Osaka Medical and Pharmaceutical Universityで、大阪医科大学の歴史と伝統を引き継ぐものであることが分かります。仁泉会の皆様におかれましては、名称を新たにした母校を温かく見守り、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

ご略歴

1974年 大阪医科大学 入学
 1980年 大阪医科大学 卒業
 1980年 大阪医科大学 大学院医学研究科 入学
 1984年 大阪医科大学 大学院医学研究科 単位取得退学
 1984年 大阪医科大学 助手
 1985年 University of California at Los Angeles, School of Medicine留学
 1987年 大阪医科大学 講師
 1989年 UCLA Forgyat AIDS Program in Brasil (member)
 1991年 大阪医科大学 助教授
 1997年 大阪医科大学 教授
 1998年 Mission for the Philippine AIDS/STD Project (member)
 大阪府医師会 理事(代議員) 学術担当
 1999年 Editorial Board of the Journal of Virological Methods
 2000年 大阪結核研究会 理事

2001年 機器共同利用センター長
 研究機構長(研究組織統合による)
 学校法人高槻高等学校 評議員
 2002年 高槻市立第四中学校 学校評議員
 高槻市建築審査会 委員
 2003年 学校法人大阪医科大学 理事
 2005年 大阪医科大学 附属看護専門学校 学校長
 一般社団法人日本私立医科大学協会 理事
 高槻市立第六中学校 学校評議員
 2010年 学校法人大阪医科大学 歴史資料館 館長
 学校法人高槻高等学校 理事
 2014年 学校法人大阪薬科大学 評議員
 高槻市都市計画審議会 委員
 2016年 学校法人大阪医科薬科大学 理事
 財団法人高槻市文化振興事業団 評議員
 2017年 学校法人大阪医科薬科大学 法人事務局長
 2018年 学校法人大阪医科薬科大学 副理事長
 大阪医科大学 名誉教授
 2021年 大阪医科薬科大学 学長

令和3年度 定期評議員会・総会開催のご案内 委任状ご提出のお願い

令和3年度の仁泉会定期評議員会及び定期総会を下記の要領にて開催いたします。**お手数ではございますが、委任状(兼出欠ハガキ)を必ずご返信いただきますようお願い申し上げます。**

本原稿作成時において、大阪府下では医療緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置がとられ、新規感染者数が1000人を超える状況となっております。現在の状態を鑑み、5月30日(日)に開催を予定しておりました定期評議員会・総会につきましては、**6月27日(日)に延期した上で開催することと致しました。**

本会は一般社団法人であり、年1回の総会開催と報告が義務づけられております。監督官庁からの通達で合理的な範囲での延期は認められておりますが中止は認められておりません。予測が出来ない状況が続いており、再度延期となる可能性もございますが、万全の感染対策を講じ、開催の準備を進めて参る所存です。

当日は多数の先生方にご出席をいただくことは難しい状況でございますので、委任状のご返信を重ねてお願い申し上げます。

※延期もしくは中止となりました場合は弊会 HP 及び FAX 等にてご案内をさせていただきます。

大阪医科大学仁泉会理事長 安藤嗣彦
令和3年4月15日

日時：2021年6月27日(日)
 午後2時30分より評議員会
 午後3時より定期総会
 会場：大阪医科薬科大学新講義実習棟1階 P101

【お問合せ先】
 大阪医科大学仁泉会事務局
 Tel:072-682-6166 Fax:072-682-6636
 E-mail: info@jinsenkai.net

大阪医科薬科大学 新学歌が完成しました！

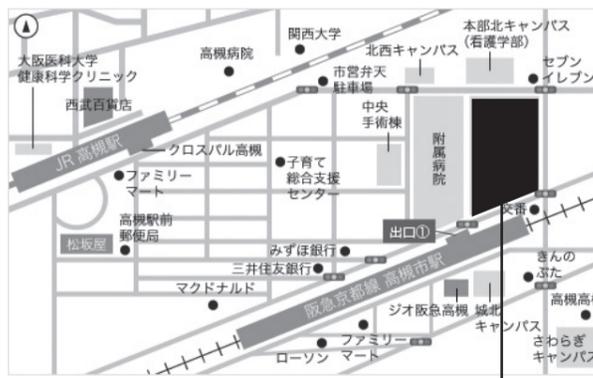
作詞は、京都大学並びに京都産業大学名誉教授で細胞生物学者、また歌人として、皇室の新年行事「歌会始の儀」の選者も務められている、JT生命誌研究館の永田和宏(ながたかずひろ)館長がご担当されました。

また、作曲・編曲は、グローバルに活躍されている作曲家・編曲家、音楽プロデューサーで、数々のCM、テレビドラマ、映画などの映像音楽等を手掛けられ、日本アカデミー賞優秀音楽賞などを多数受賞されている千住明(せんじゅあきら)先生がご担当されました。

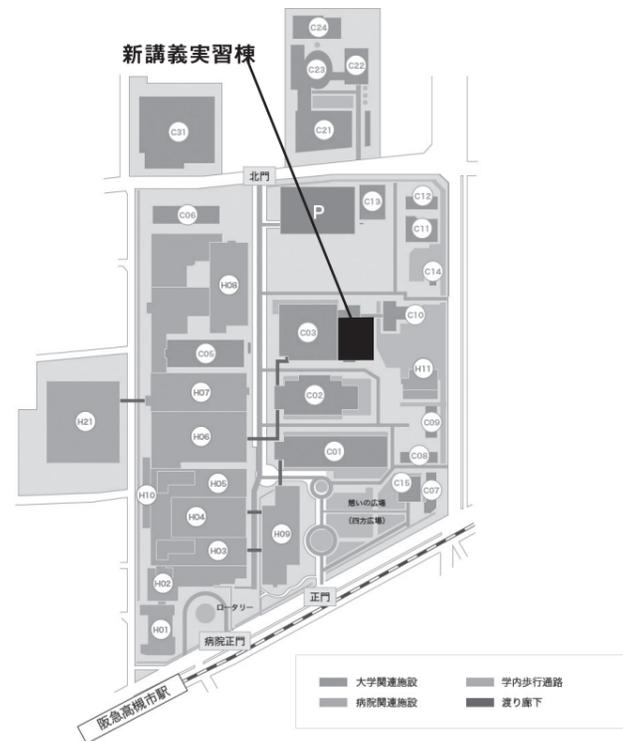
大阪医科薬科大学 ホームページ <https://www.ompu.ac.jp/about/02.html>

大阪医科薬科大学 学歌

大阪医科大学ご案内地図



●お車でのご来場はご遠慮ください



●お車でのご来場はご遠慮ください

大阪医科大学

令和3年評議員会次第

1. 議案
 - ①評議員改選について
 - ②仁泉会法人名称変更について
 - ③その他

令和3年定期総会次第

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会の辞 2. 物故会員に対する黙祷 3. 理事長挨拶 4. ご来賓挨拶 5. 仮議長指名 6. 議長選任 7. 議事録署名者選出 8. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ①令和2年度事業報告 ②令和3年度事業計画について ③令和3年度予算について | <ol style="list-style-type: none"> 9. 議案 <ol style="list-style-type: none"> ①令和2年度決算承認を求める件
監査報告 ②大学4号評議員候補者推薦承認を求める件 ③定款改正の承認を求める件 ④役員改選の件 ⑤その他 10. 仁泉会法人名称変更について 11. その他 12. 閉会の辞 |
|---|---|

令和3年度仁泉会事業計画

【公益目的事業】

1. 学術振興研究援助事業

学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。

2. 奨学金貸与事業

良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。

【一般事業】

3. 仁泉会本部諸事業

1) 大阪医科大学への後援

- ①母校の募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。
- ②令和3年度医学部卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。

③医学部学生の諸活動への援助を行う。

④母校の発展向上に寄与する為の支援・協力活動を推進する。

⑤母校執行部、教職員並びに学友会との連携をはかる。

⑥医学部卒業生の国家試験対策事業への援助を行う。

2) 会員の福利厚生への支援

- ①会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。
- ②会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①支部組織強化の為の活動への支援。
- ②会員で構成される団体への支援。

- ③会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。
 - ④地区合同懇談会を開催し、組織率向上を目指す。
 - ⑤学生会員の加入を促し、母校の発展向上に寄与する。
- 4) 全国私立医大同窓会との連携
全国私立医大同窓会連絡会に参加し、私立医科大学同窓会相互の連携と情報共有を深め本会の発展向上を図る。
- 5) 大阪医科大学同窓会との連携
大阪医科薬科大学薬学部同窓会との情報交換と交流を行う。
 - 6) 広報事業
 - ①機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行（学術機関誌としての内容充実）。
 - ②電子化広報の充実拡充（仁泉会ホームページ及びフェイスブックの更新）。
4. その他法人の目的達成に必要な事業
以上

令和3年度基金会計収支予算書(案)

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部	1. 基金運用収入	4,472,000	5,364,000	△ 892,000	
	①基金利子	10,000	10,000	0	基金運用利息
	②返還金	4,462,000	5,354,000	△ 892,000	奨学金返済
	2. 寄 付 金	10,000	10,000	0	
	3. 雑 取 入	10,000	10,000	0	普通預金利息
	当期収入(A)	4,492,000	5,384,000	0	
	前期繰越額	15,428,903	19,099,929	△ 892,000	
	合 計(B)	19,920,903	24,483,929	△ 3,671,026	
支出の部				△ 4563026	
	1. 事 業 費	4,400,000	4,400,000	0	
	①研究助成費	100,000	100,000	0	
	②研究奨励費	100,000	100,000	0	
	③奨 学 費	4,200,000	4,200,000	0	7名
	2. 管 理 費	50,000	50,000	0	
	①雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料
	②租税公課	30,000	30,000	0	
	3. 繰 出 金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	4. 予 備 費	14,470,903	18,033,929	△ 3,563,026	
当期支出(C)	19,920,903	24,483,929	△ 4,563,026		
収支差額(A)-(C)	△ 15,428,903	△ 19,099,929	3,671,026		
次期繰越(B)-(C)	—	—	—		

令和3年度一般会計収支予算書(案)

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部	1. 入 会 金	2,000,000	2,000,000	0	
	2. 会 費	25,000,000	25,000,000	0	
	3. 学生会費	1,800,000	1,800,000	0	
	4. 寄 付 金	10,000	10,000	0	
	5. 雑 収 入	1,500,000	5,000,000	△ 3,500,000	広告 / 預金利息他
	6. 繰 入 金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	当期収入(A)	31,310,000	35,810,000	△ 4,500,000	
	前期繰越額	23,900,180	21,655,144	2,245,036	
	合 計(B)	55,210,180	57,465,144	△ 2,254,964	
支出の部	1. 事 業 費	14,100,000	21,100,000	△ 7,000,000	
	①会 報 費	10,000,000	10,000,000	0	会報誌発行 / 発送
	②学 術 費	1,000,000	2,500,000	△ 1,500,000	5 学会支援
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	学園祭支援等
	④記念事業費	200,000	200,000	0	
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0	
	⑥慶 弔 費	800,000	800,000	0	供花料 / 生花代
	⑦国家試験対策費	1,000,000	0	1,000,000	
	⑧名簿製作費	0	6,500,000	△ 6,500,000	名簿作成
	2. 管 理 費	16,950,000	17,900,000	△ 950,000	総会 / 理事会他
	①会 議 費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	②給 料 手 当	7,000,000	7,000,000	0	事務員3名
	③旅 費	1,500,000	1,500,000	0	理事会、支部会出席他
	④通 信 費	500,000	500,000	0	切手・電話・電報料
	⑤備 品 費	200,000	200,000	0	
	⑥消 耗 品 費	400,000	400,000	0	
	⑦会費徴収費	400,000	350,000	50,000	
	⑧社会保険料	850,000	850,000	0	
	⑨交 際 費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他
	⑩諸 謝 料	1,300,000	1,300,000	0	税理士・弁護士顧問料
	⑪雑 費	500,000	500,000	0	
	⑫事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料
	⑬租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他
	⑭積立金	1,000,000	1,000,000	0	周年事業準備他
	3. 予 備 費	24,160,180	18,465,144	5,695,036	
	当期支出(C)	55,210,180	57,465,144	△ 2,254,964	
	収支差額(A)-(C)	△ 23,900,180	△ 21,655,144	△ 2,245,036	
		次期繰越(B)-(C)	—	—	—

(注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

大学名称変更に伴う定款改正案

現定款	改正案
<p>第3条 この法人は、医学知識の研鑽普及を行うとともに、大阪医科大学とその附属病院における医学の教育・研究及び学术交流の振興を助成し、併せて会員相互の親睦を図り、もって医学の教育・研究の発展向上及び学術の発展に寄与することを目的とする。</p>	<p>第3条 大阪医科大学を大阪医科大学に変更。</p>
<p>第4条 この法人は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。 及び講演会の開催 (3) 大阪医科大学及び附属病院の拡充と設備の強化及びその助成</p>	<p>第4条 項(3) 大阪医科大学を大阪医科大学へ変更。</p>
<p>第5条 この法人は、以下に掲げる者で、この法人の目的及び事業に賛同したのもをもって会員とする。なお、(1)(2)の会員を「正会員」、(3)の会員を「学生会員」という。 (1) 大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学(以下、「本学」という。)の卒業生</p>	<p>第5条 項(1) 大阪高等医学専門学校、大阪医科大学及び大阪医科大学(以下、「本学」という。)の医学部の各卒業生</p>



祝・大阪医科薬科大学教授ご就任！ 星賀正明先生（学34期）

ご挨拶

文責／星賀正明（大阪医科薬科大学医学部内科学
講座内科学Ⅲ教室教授 学34期）



星賀正明先生ご経歴

- 1985年 3月 大阪医科大学医学部卒業
- 1985年 6月 大阪医科大学第一内科で研修開始
- 1993年 12月 博士（医学）取得（医化学教室）
- 1994年 4月 米国University of Washington（Seattle）
病理学教室・血管生物学センターに留学
（2年半）
- 1998年 6月 大阪医科大学第一内科助手
- 2011年 4月 大阪医科大学内科学I講師
- 2011年 11月 大阪医科大学内科学Ⅲ診療准教授
- 2012年 4月 同上准教授
- 2013年 4月 大阪医科大学附属病院
医療プロフェッショナル支援室長
- 2014年 7月 大阪医科大学内科学Ⅲ・循環器内科
専門教授
- 2018年 6月 大阪府医師会理事
- 2018年 8月 大阪医科大学附属病院
循環器内科診療科長
- 2020年 4月 大阪医科大学病院 副院長
- 2021年 4月 大阪医科薬科大学 内科学Ⅲ教室 教授

仁泉会会員の皆様

2021年4月1日付で、内科学講座内科学Ⅲ教室教授を拝命しました。母校の内科学教室を率いることになり、身に余る光栄に存じます。

私は、1985年に大阪医科大学を卒業し、第一内科に入局しました。7つの診療科がひしめく大内科で育ち、循環器内科を専攻しました。大学院（医化学教室）、海外留学の後、第一内科の助手、講師となり、2011年循環器内科の再編に伴い、第三内科に移籍しました。その後、専門教授を経て、この度教室教授に選任いただきました。

母校は今年で創立94周年を迎え、新たに大阪医科薬科大学になり、更なる発展を目指すところであります。超高齢社会のいま、めざしたいのは、チーム医療の進化です。多様な価値観を尊重し、ベクトルを合わせる。来年竣工予定の病院新本館 A棟がそのシンボルになりますよう、また併せて次世代を担う人材の育成を通じて、本学の発展に寄与できるように全力を傾ける所存です。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各地でのご就任のご報告を お待ちしております！

自選・他薦は問いませんので、
各地でご就任された先生方がおられましたら
事務局までお知らせください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenkai.net



祝・自治医科大学教授ご就任！ 松木 充先生（学40期）

ご挨拶

文責／松木 充（自治医科大学とちぎ子ども医療
センター小児画像診断部教授 学40期）



2021年4月1日付で自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部教授に就任いたしました。大阪医科大学在職中には公私にわたり、大阪医科大学および仁泉会の皆様方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

私は1991年に大阪医科大学を卒業し、同大学第一内科学教室(大澤仲昭教授)に入局しました。内科研修を通じて画像診断の重要性を知り、翌1992年に同大学放射線医学教室に入り、橋本 勇教授の指導のもと画像診断と対面診療の両立の重要性を学びました。その後鳴海善文教授のもと2010年同大学放射線医学教室准教授、2012年には近畿大学医学部放射線医学講座准教授に歴任し、現在に至ります。

放射線診断は、単純X線、CT、MRI、核医学検査(RI・PET)を中心に行われています。私自身、放射線診断を目指した当初から、すべてのモダリティを駆使し、全身のあらゆる臓器を横断的に診断する modality independent の general radiologist を目指してきました。また診断のみならず、低侵襲な外科手術に必要な画像の開発に努めてきました。奥田準二先生（現・大阪医科大学附属病院 がん医療総合センター特務教授）、田中慶太郎先生（現・同大学一般・消化器外科学教室 専門教授）とともに2001年世界に先駆けて、腹腔鏡下大腸癌手術に対する術前ナビゲーション、術中シミュレーション画像を提案し、腹腔鏡下手術の普及に貢献してきました。また2006年一般・消化器外科学教室谷川 允彦教授の指導のもと MRI 用リンパ節特異性造影剤である微小超常磁性酸化鉄粒子 (USPIO) を用いたリンパ節転移診断を日本で初めて実施し、消化器癌の系統的リンパ節郭清から個別のリンパ節郭清を目標に研究を行ってきました。

そのほか拡散強調像による腹部悪性腫瘍の検出・質的診断、CT 検査の被ばく線量の低減・造影剤の減量に関する検討、CT urography の開発などを行ってきました。

2012年に近畿大学医学部放射線診断科に着任後も各診療科と連携し、最高水準の診療に貢献できるよう努めてきました。また大阪医科大学で培った経験で、近畿大学医学部産婦人科学教室とともに女性骨盤領域の局

在診断、子宮筋腫と肉腫の MRI 画像による鑑別方法、婦人科悪性腫瘍の再発診断、超常磁性酸化鉄粒子 (SPIO) 局注後の MRI での子宮頸癌・体癌のセンチネルリンパ節同定、骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腫固定術前の 3D CT angiography の開発を行ってきました。

また後進の教育・指導にも力を入れ、大阪医科大学では放射線医学教室のみならず一般・消化器外科学教室の博士学位論文の指導を行ってきました。2018年兵庫医科大学特別招聘教授として兵庫医科大学の学生講義も担当し、2020年近畿大学医学部において Good teacher 賞を受賞しました。

これから小児画像診断というより専門性の高い分野で精進することになりますが、general radiologist として培ってきた経験と協調性で、診療・研究・教育により一層邁進し、かけがえのない子どもたちの健やかな成長に貢献できるよう努めてまいります。最後になりましたが、大阪医科大学仁泉会の皆様方には、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

松木 充先生ご経歴

- 1991年 3月 大阪医科大学卒業
- 1991年 5月 大阪医科大学第一内科学教室入局
- 1992年 4月 大阪医科大学放射線医学教室入局
- 1994年 10月 箕面市立病院放射線科医員
- 1995年 10月 大阪医科大学放射線医学教室専攻医
- 1996年 7月 天理よろづ相談所病院MRセンター医員
- 2000年 4月 大阪医科大学放射線医学教室助手
- 2006年 5月 春秋会城山病院画像診断センター部長
- 2008年 10月 大阪医科大学放射線医学教室講師
- 2010年 7月 大阪医科大学放射線医学教室准教授
- 2012年 4月 近畿大学医学部高度先端総合医療センターPET分子イメージング部准教授
- 2012年 9月 近畿大学医学部放射線医学講座放射線診断学部門准教授
- 2018年 4月 兵庫医科大学放射線医学教室
特別招聘教授兼任
- 2021年 4月 自治医科大学とちぎ子ども医療センター
小児画像診断部教授



祝・大阪医科薬科大学教授ご就任！ 喜田照代先生（学45期）

ご挨拶

文責／喜田照代（大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座 眼科学教室教授 学45期）



2021年4月1日付をもちまして、大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座 眼科学教室教授を拝命致しました。甚だ微力ではございますが、母校の発展と教室の充実のために専心努力する所存です。どうぞ今後ともよろしくお願ひ致します。

私は1996年大阪医科大学を卒業し、東 郁郎先生主宰の本学眼科へ入局しました。その後、1999年4月京都府立医科大学より池田恒彦先生が着任され、現在の教室運営に至っています。

今春、大阪医科大学と大阪薬科大学が統合され、母校も大阪医科薬科大学に新しく生まれ変わりました。近年、眼科も、新型コロナウイルス感染拡大により、やはり影響がございます。前途多難の船出となりましたが、気持ちを新たに、優秀な学生および眼科医の育成と、基礎の教室や他診療科の先生方との信頼・連携を大切に、より良いチームワーク・国際化を目指して、自ずと人が集まる、プロアクティブな開かれた教室にしたいと思ひます。今後とも何卒ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

喜田照代先生ご経歴

- 1996年 3月 大阪医科大学卒業
- 1996年 5月 大阪医科大学眼科学教室入局
- 2002年 3月 大阪医科大学大学院修了、医学博士
- 2002年 4月 淀川キリスト教病院眼科医員
- 2005年 5月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校眼科フェロー
- 2007年 6月 淀川キリスト教病院眼科副医長
- 2009年 4月 市立枚方市民病院眼科副部長
- 2011年 4月 大阪医科大学眼科講師(准)
- 2014年 10月 大阪医科大学眼科講師
- 2020年 4月 大阪医科大学眼科診療准教授
- 2021年 4月 大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座 眼科学教室教授

賞罰

- 2002年 4月 MSD(Merck-Sharp-Dohm) Award国際賞受賞
- 2002年 9月 牧内・東学術奨励賞受賞
- 2012年 9月 第8回鈎獎学基金研究助成金受賞
- 2018年 3月 眼医療研究助成(木原満智子眼医療基金)受賞



祝・卒業

令和2年度

卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は令和3年3月4日（木）に高槻現代劇場大ホールにて行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、式次第の大幅な時短などの対策がとられる中、滞りなく第70回卒業式が終了しました。

本年の仁泉会理事長賞は佐々木博章さんが受賞されました。

大槻勝紀学長の当日挨拶の要旨及び、安藤理事長の祝辞を掲載いたします。

学長告辞

大阪医科大学学長 大槻勝紀

弥生の季節を迎え、木々のつぼみも膨らみ始めた今日この頃、本日ここに本学卒業式を挙行いたします。

大阪医科大学医学部医学科第70期生118名並びに看護学部看護学科第8期生87名の皆様、ご卒業誠にありがとうございます。またご臨席賜りました保護者の皆様、心よりご子息、ご令嬢のご卒業をお喜び申し上げます。大学にとりまして、卒業式は学位記を授与し、卒業生がそれを抛り所に、実社会に船出する大切な学事であります。

本日は同一法人である大阪薬科大学 学長 政田幹夫先生、高槻中学高等学校校長 工藤 剛（つよし）先生をはじめ、ご列席いただいております御來賓の各位に教職員並びに卒業生を代表いたしまして、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスは未だ終息する気配を見せず、日本では2月末から始まったワクチン接種に期待を寄せる日々が続いています。本学におきましても3月中旬から教職員・学生を対象にワクチン接種が始まります。これまで本学では学生・教職員から五月雨的に感染者の報告を受けていますが、ほとんどは家族内あるいは感染ルート不明の感染で、感染対策室や病院関係者のご尽力で大学や病院でのクラスターの発生には至っておりません。教学面では昨年



4月初旬から Moodle や Zoom 等の遠隔授業を実施し、ようやく9月になって対面授業を開始することが出来ました。この遠隔授業は教職員や学生にとって初めての経験であり、対応に戸惑った諸君も多かったことと思います。特に国家試験を控えた医学部6年生や看護学部4年生には3密に配慮して図書館や自学自習室の利用など特段の配慮を行って来ました。新型コロナ感染の蔓延により今年の新入生の入学式は対面で行うことが出来ず、ビデオ配信となりました。そのため学長として晴れの門出である卒業式だけは何とか開催したいと願っていました。本日ここに卒業式を開催でき、ご協力いただきました多くの関係者に感謝いたします。

この4月1日から本学の名称は大阪医科薬科大学に改まります。諸君は大阪医科大学として最後の卒業生になります。1927年に5年制の大阪高等医学専門学校として設立され、現在、創立94年を迎えます。1947年に大阪医科大学（旧制）として学校名が変

更され、大阪医科大学としては74年間の幕を閉じます。この間、本学卒業生や関係者のご努力で西日本一の私立医科大学の地位を保つことが出来ました。私自身も諸君の卒業とともに大阪医科大学最後の学長として終えることが出来、誇らしく思っています。今後は大阪医科薬科大学として新たに船出し、新大学のブランド力が上がることを諸君とともに祈念したいと思います。

医師、看護師など医療人になる諸君に心の拠り所として、今一度、本学の「建学の精神」について、お話しいたします。

初代理事長の吉津 度は建学の精神として「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またそれらは実地の医療に活かすことで達成される。」と唱え、当時の移民団への医師派遣を目的として本学が設立されました。学歌の第5節には南溟の空遠く、アマゾン岸の花、崑崙か、ゴビの原などと謳われ、校旗の三色、黄色は大地を、赤は太陽を、緑は海原を意味しています。本学は今でいう国際化を目指した大学であります。今後、皆さんは国内外を問わず社会に貢献できる医療人として、あるいは大学に残り、教育者や研究者として活躍されることと思えます。

これからの医療を考えたとき、医師、看護師、薬剤師、技師、事務職員などが与えられた職務を個として行うだけでなく、多職種の方と連携してのチーム医療を行なうことが求められています。そのため本学では医学部、看護学部や大阪薬科大学薬学部学生を対象として医療人マインド、医看融合教育ゼミや専門職連携医療論などからなる多職種連携教育(Inter Professional Education(IPE))に注力してきました。今後、諸君は医師や看護師として IPE を実践できる医療人になることを期待しています。

医療を志す者であれば内科医の William Osler 博士のことをご存じのことと思えます。これまで Osler 博士は多くの名言を遺していますが、そのいくつかを紹介しましょう。`The practice of medicine is an art, based on science` これを直訳すると「医学の実践はサイエンスに基づいたアートである」ということとなります。アートとは何を指すのでしょうか。随筆家の荒井保男氏は「長い間の学問と体験によって得られた知識と技術を、病める人の体と心の中に持ち込んで、個性を十分に考慮しながら適応

し対処するもので、それがアートなのである。その際、病める人の悩みを感じ取ることでできる感性の豊かさとヒューマニティが求められる。」と解説しています。5年前、本学で開催された第48回日本医学教育学会で故日野原重明先生に名誉会長講演をお願いし、「再びオスラー博士に学ぶ」と題してお話を頂きました。その際、Osler 博士の一節が引用されました。`Medicine should begin with the patient, continue with the patient, and end with the patient` 「患者さんの話に耳を傾け、患者さんに寄り添い患者さんから学ぶ姿勢が大切である」という一節をお聞きし、私たちは現在忘れていた医療の本質について考えさせられ、感銘を受けました。卒業生諸君が医療人として他者を思いやり利他の心で誠実に患者さんに接していく医療人になっていただければと願う次第です。

最後に、諸君の卒業をお祝いし、門出の言葉として論語の有名な一節「子 日わく、之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」を贈ります。医学研究や医療の実践において知っているだけではアマチュア、好きなだけではセミプロ、趣味のように没頭し楽しめるようになればプロと言えるかもしれません。諸君が教育、研究や臨床に対して楽しんで向き合っていける医療人にならんことを祈念して学長の告辞といたします。



祝辞

一般社団法人大阪医科大学仁泉会 理事長 安藤嗣彦

第70期医学部卒業生の皆様この度はご卒業まことにめでとございます。また本日ご臨席いただいております、ご両親をはじめご家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。さらに本日まで卒業生をご指導され、薫陶を賜りました本学教職員並びに関係各位に対しまして、お祝いとともに厚く御礼申し上げます。

医学部卒業生の諸君は本日から、一般社団法人大阪医科大学仁泉会(すなわち同窓会)会員であります。本法人は1927年創立の大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学卒業生で構成され医学部70期生118名を新たに加えますと、総数は9791名となり、現在も各地で活躍中の会員は5659名を数えます。

さて、本日でめでたく卒業される諸君の近々の最大の試練は医師国家試験の可否の判定です。発表までは心穏やかに過ごせないとは思いますが、仁泉会員は全員の合格を切に祈っています。

国家試験合格の暁には、前期、後期の研修制度に基づき、医師としての厳しい修練が始まります。本学以外の他大学や研修病院で研修される卒業生は、再び本学での診療や研究に携わる機会は多くありません。しかしながら本学が否かを問わず、この6年間大阪医科大学で学び親交を深めた同級生や教職員の方々との思い出はいつまでも忘れる事はありません。

この学生時代の思い出こそが、母校愛を育む最も大きな要素です。

諸君は学歌に謳われた建学の精神をもう一度噛みしめ、母校愛を胸に抱きながら医療従事者としての道を研鑽されることを期待します。

仁泉会は、学生諸君への事業として奨学金貸与事業以外にも、学園祭、西医体への援助、優秀な卒業生への仁泉会理事長賞、仁泉会報の発送や学生生活のセミナー等の事業を行っていますが、卒業後も4年に1度の名簿の作成発送、会員主催の学会への援助、全国支部組織の強化事業等、多岐に及びます。これらの事業は全て会員の年会費で運営されています。これらの事業は全国の私立医科大学の同窓会からも絶賛されています。諸君達には卒業後はこの事

業の継続に協力をいただくよう切にお願いいたします。

先日、大阪でも新型コロナ感染症による緊急事態宣言が解除されました。本日の式典が御父兄同席のもと開催され、感激もひとしおの事とお喜びいたします。

尚、4月より本学は大阪医科薬科大学として新たな一歩を踏み出します。本卒業式が大阪医科大学として最後の卒業式となりましたが、卒業生並びに本学の前途は洋々としています。

最後に、本日卒業の諸君の前途を祝福いたすと共に御出席の御父兄、教職員の皆様のご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

仁泉会理事長賞 受賞者

佐々木博章さん

おめでとうございます!





黒川晃夫先生
 兵庫県神戸市出身。六甲学院中学校・高等学校卒業 学43期
 2020年4月、武庫之荘にて、くろかわ皮フ科を開院
 在学中の所属部活/グリー部
 趣味/ゴルフ、ボウリング

自己紹介をお願いいたします

このたび、阪急神戸線武庫之荘駅から南へ徒歩3分のところで「くろかわ皮フ科」を開院しました、1994年大阪医科大学卒業の、黒川晃夫（くろかわてるお）と申します。

学位取得後、枚方市民病院（現：市立ひらかた病院）部長を経て、2009年、本学に戻ってまいりました。遡ること25年以上前の研修医時代より、自由に独自の診療がしたい、多くの患者さんと接したい思いが強く、令和2年4月、縁あって武庫之荘にて開院する運びとなりました。ところが、新型コロナウイルスにより内覧会は中止となり、開院1週間後には、緊急事態宣言が面前に立ちはだかりました。いわゆる「パラシュート開院」であり、患者さんが来るはずがありません。そんなある日のこと、クリニックに一本の電話が入りました。かつて日本小児東洋医学会学術集會でお世話になり、現在、小児科を開院されている重鎮の先生からでした。「なかなか患者さん来ないやろう、こっちも患者さん激減してるねん。お互い頑張ろう！」といった内容で、私はいたく感銘を受けました。

その後、兵庫県立尼崎総合医療センター、関西労災病院、近隣のクリニックなどから、患者さんのご紹介や往診のご依頼がくるようになり、大学病院や市立ひらかた病院、バイトとして勤務していたクリニックの患者さんが一人、また一人クリニックを訪れるようになりました。研修医時代から今に至るまで、できの悪い私を温かく見守って下さった清金名誉教授、森脇教授ならびに大学関係者の方々、市立ひらかた病院をはじめ、バイト先の施設やクリニックの皆様、漢方のことでお世話になった千福貞博先生、吉田麻美先生、開業前より励ましのお言葉や多くのアドバイスを頂戴した先生方および医療関係者の皆様、近隣の先生方、クリニックを受診される患者さん、そしてくろかわ皮フ科スタッフ全員に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

クリニックの特徴をお教えてください

当クリニックでは、皮膚科・アレルギー科を標榜し、一般皮膚科、小児皮膚科、漢方診療、自費診療のオプションなど幅広く行っています。重要な疾患に対し、自ら作成したパンフレットや製薬会社さんが持参された冊子を患者さんに渡すようにしています。アトピー性皮膚炎、尋常性ざ瘡、円形脱毛症には特に力を入れて診療しています。重症アトピー性皮膚炎にはデュピクセントを、難治性の蕁麻疹にはゾレアを導入することで、よりよい治療の改善を図っています。尋常性ざ瘡には、漢方薬を多用した保険治療から開始します。肌質がよくなり、深いざ瘡が残存する患者さんには、ケミカルピーリングなどの施術を勧めています。皮膚潰瘍治療薬であるアクトシン軟膏（自費）は、独特の臭いがあるものの、緩やかな凹凸のあるざ瘡にはとても効果的です。今後、様々な施術を取り入れ、より充実したざ瘡治療に努めてまいります。

クリニックには色々なタイプの患者さんが受診されます。私は、それぞれの患者さんに最適と思われる、「オーダーメイド」な治療を心がけています。若い女性で、友達口調で話しかけ

てくることがあります。そういう患者さんには相手と同じように友達口調で言葉を返します。不安を抱えた患者さんには、時間の許す限り患者さんの訴えに耳を傾けるよう心がけています。初診時、自分の症状をうまく説明できなかった患者さんが、診療が進むごとにどんどん悩みや皮膚科に関係ないことまで相談されるようになることも少なくありません。ご高齢の方には分かりやすくゆっくり説明し、メモ書きしたものを手渡すこともあります。

最後に仁泉会の先生方へ一言お願いします

開業して間もない私ですが、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。最後に、執筆の機会を与えて下さいました、大阪医科大学仁泉会事務局の皆様、理事長 安藤嗣彦先生に深謝致します。

くろかわ皮フ科のご紹介

- 専門科目
皮膚科・アレルギー科
- 所在地
兵庫県尼崎市南武庫之荘1丁目12-1
松弥サウスモール2F
- 休診日/木曜日、日曜日、祝日
- 電話番号/06-6439-7233
- FAX / 06-6439-7234



くろかわ皮フ科
 Kurokawa Skin Clinic

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前診 9:00~12:00	○	○	○	-	○	○	-
予約診 14:00~15:00	○	○	○	-	○	-	-
午後診 16:00~19:00	○	○	○	-	○	-	-

■ 休診日：木曜日/土曜日午後/日曜日・祝日 ■ 予約診はご予約の患者様のみ
 ■ 診療科目：皮膚科・アレルギー科
 管理医師：黒川晃夫 従事医師：黒川晃夫

**ご開業の際は
編集部にお知らせください**

新規でご開業された会員諸先生方がおられましたら事務局までお知らせください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
 e-mail / jimuj@jinsenkai.net

仁泉ひろば

jinsen-park

耳が聞こえなくなった5日間

文責／前田義雄（高16期）

私は大阪医大16期の前田義雄と申します。今年満96歳ですがお陰様で80歳の時の脳出血で左手に少し麻痺が残ったとはいえ日常生活では大きな支障もなく日々穏やかに過ごさせていただいております。

2歳年下の家内が2月17日水曜日に椅子の上に乗ってキッチンの棚の上に入っているちらし寿司の素をとろうとして転倒しました。胸が痛いとその後言っていたのですが外傷もなく自宅で休養していればいいと思っていたのですが痛みがひかないので主治医である循環器の先生に連絡したところその痛みは骨折からきているものと思われるので整形外科を受診してレントゲンを撮ってもらうようにと指示を出してくださいました。

その後2月19日から家内の入院が決まりつらいと感じておりました。

そのストレスが引き金になったのかはわからないのですが2月22日の朝急に耳が聞こえなくなりました。

96年生きてきて耳が全く聞こえないという経験をしたことがなかったので外界と閉ざされた気持ちになり非常におちこみました。私は大阪東南ロータリーのメンバーで毎週火曜日には大阪ホテルニューオータニで異業種の方たちとの歓談を日課にしておりそこで卓話を聞いて皆様と意見交換するのが非常に楽しみにしておりました。

また、読売日本交響楽団の定期コンサートにも欠かさずフェスティバルホールに行くのも楽しみの一つでした。

が、耳が聞こえなくなったと言う事はこの2つとも止めなければならないと言う事になりこの先なにを楽しみに生きていけばいいのでしょうか？と悲しんでおりました。

また毎日ではありませんが今も診察をしており患者さんからの生の声を聞く事ができないので患者さんの問診は筆談でこなすしかないと腹をくくっておりました。

2月22日から2月26日のたった5日ではありますがこのように暗い日々をおくっていましたが26日に前田医院の看護師さんに付き添ってもらって近所の耳鼻科山川耳鼻咽喉科を受診しました。

なんとと言う事でしょう！

山川先生に耳垢をとっていただく全く孤独で閉ざされていた世界からまた皆様と語り合える日常の世界に舞い戻る事ができたのです。

この感動は今までの人生でいろいろな事があったとはいえ今後一生忘れられない感動の瞬間となりました。

耳が聞こえると言う事は本当に素晴らしい事です。

おそらく2月21日にお風呂に入ったさい耳に水が入り込みそれで耳垢が膨れてしまって耳を塞いだんだと思います。

この教訓は普段気にとめてない耳が日常生活にどれだけ影響を受けるかと言う事。そのためには歯科や眼科と同じように定期的に検診を受けて耳の穴をチェックしてもらい自分で触るのではなく耳鼻科の先生に耳垢をとっていただくという事を繰り返すのが良いのではと思いました。

この事を皆様にお伝えたくて仁泉会ニュースに書かせていただきました。

仁泉ひろば

jinsen-park

「諺」考

文責／西村保（学4期）

「健全なる肉体に健全なる精神が宿る」という諺があるが、私はかねがね疑問に思っていた。何故なら肉体的には全く健全であっても不健全な精神の持ち主は幾らでも存在するし、逆に正岡子規のごとく肉体的には結核で全く不健全ながら立派な文学的業績を成し遂げた人も存在するからである。所が、ある時、ある本を読んでいて正に目から鱗が落ちる思いがした。

この諺は古代ギリシャの哲学者の言葉で「健全なる肉体の持主に健全なる精神が宿ってくれば良いがなあ」という、云わば願望なのである。確かに両者が揃えば正に鬼に金棒であろうが現実には数が少ないが故に願望となったのであろう。

「棚からぼた餅」という諺がある。略して「たなぼた」とも云う。つまり、棚からぼた餅が落ちてきて、偶然、開かれていた口に入った状態を云うのである。要するに、思いがけない良いことに巡り合うという意味であるが、これは「棚からぼた餅を取るには手を伸ばさなければならない」と云うのが本当だそうである。つまり、努力しなければ良い結果は得られないのである。

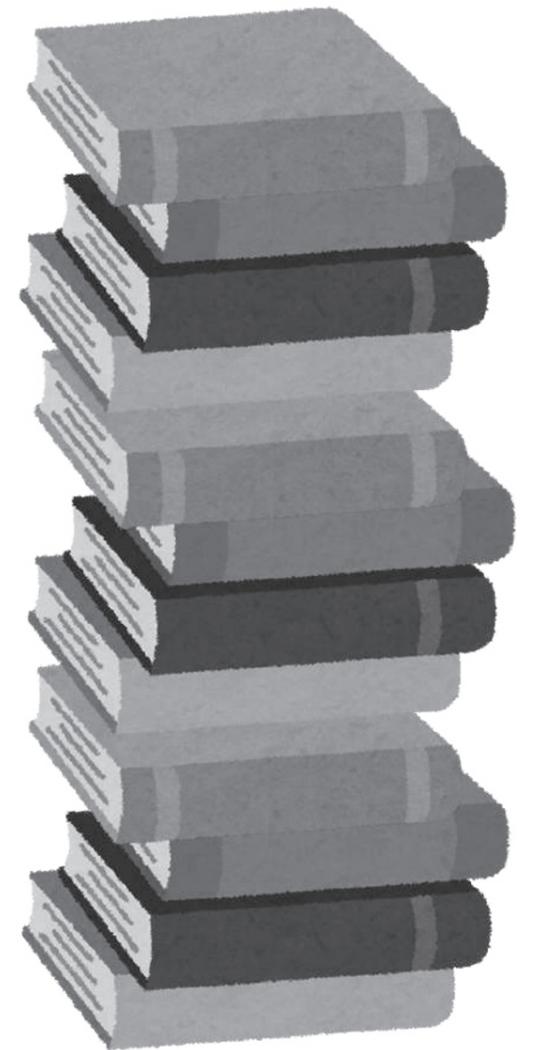
「果報は寝て待て」という諺がある。つまり幸運は焦らずに静かに時機を待つが良いとの意味であるが、これも「成すべきことを成した後の良い結果は静かに待つが良い」と云うのが本当だそうである。つまり「人事を尽くして天命を待つ」の心境であらう。

「情けは人のためならず」という諺がある。つまり、「人に情けをかけすぎると、反って、その人のためにならない」と云う人もいるが、これも続きがあって「ひいては我が身のためもある」というのが本当だそうである。正に相

身互いであらう。

「袖触れ合うも他生の縁」という諺がある。これを「多少」と解釈する人もあるが、他生とは、この世から見て過去および未来の生をいう仏教の言葉で、今生（現在）と合わせ、三つの生の縁があるという意味である。

「諺」、つまり「古くから人に云いならされた言葉、教訓、諷刺などの意味を寓した短句や秀句一広辞苑」も長い間には肝腎な言葉が省略されて、人間の都合のよいように変化するのであろうか。



仁泉ひろば

jinsen-park

親友k君の思いで

文責／大澤直（学14期）

今回の報告は、小生の友人関係の思い出話の中では、一番馬鹿なことをしていた高校～大学生の頃のもの为主体であり、今更世間に公開するには、余りにもはばかれることが多いのでここでは自分自身と彼の名誉のために、あえてここでは1～5のように表題で分かる人だけが分かる様にしておきます。

では、1～5を

「これ以上はご法度」記事が多いので他は小生が生きている間ナラバ口述いたしますのでよろしく願いいたします。

- 1, 高校時代には、日本はじめての2サイクル2気筒に仕上がったヤマハのバイクを購入し三条山之内の溝に転落した【1】については付記あり。
- 2, 彼が良く利用していた四国瀬戸内海に起こった深夜の宇高高速連絡船（海の白タクシー）が島に激突炎上船長死亡の件
- 3, 名神高速の山科インター出口のスズキの軽自動車に追突転覆の件
- 4, RESINNG タイヤの借金地獄の件
- 5, 鈴鹿サーキットで活躍中孤独なレーサーとニックネームがついて彼は全日本第5位になっていたのです

彗星のごとく現れた洒落た若者彼の身分は自動車関係の記者たちには、どこの誰とも知られない幻の若者だったようだ。

さて、今でも彼のことを思い出すとクルマの話ではなく青春時代の最後の思い出として、必ずでてくるのは小生たち3人の悪ガキ仲間が春休みに最後のスキー旅行に行こうかと話して

いたらそれを聞きつけて可愛い同級生の3人組が同行参加を申しでて来たのですが、男性の3人が一応部屋は別々にとマジに考えてたのですが、女性軍の中で尼崎から通ってきていたF子ちゃんの同じでいいやんといい出してくれた同級生女子の大胆な意見で、大人になって今から考えてみればいかにも楽しいシチュエーションのコメディが展開するような高校生活最後の旅に出かけたのでした。

1週間後に家にかえってくると少しばかり馬鹿にしたような顔で、あんた卒業できひんで、と萩さんに言われて『何にもしてへんのになんでやねん』、と言いつつ聞いてみれば『あんた最後の国語の試験が0点やそうやで』と言われて、そこではたとN先生やなと気づいたのでした。

先生の最終試験の答案を白紙で出しておいたのですが、何も悪気はなく同志社大学の推薦漏れの連中のために一人でも推薦枠に入れるようにとやってやったことであつたのですが、先生は馬鹿にされたと言って卒業取り消しと騒いでるらしいと聞いたので、如何対処すべきであるか先輩に聞き、早速酒樽を家に届けて再試験をお願いしたのですが、再試験のために当日教員室に行くとは何といるはいるは仲間が何人もいてとんでもない酒好き教師だと皆で大笑いして返って友情を固めたのをいまとなれば楽しい思い出となっています。

勿論、白紙答案は失礼なことであつたという反省はして、あれ以来試験では白紙答案は出していません。

その結果、事件は無事に解決したので、甲南大学への進学がかないました。

甲南大学理学部の医学部進学コースの2年間はあつという間にすぎたのですが、阪急電車のスマートさ、京都にはない雰囲気神戸での遊び方、甲南大学のあつた岡本駅の隣の芦屋、夙川といったところにお住いの凄なお金持ちのご子息、ご令嬢の生活や雰囲気だけでも身近に知る機会があつたことはよかつたとおもいます。その後の大阪医大での皆から2年遅れの感じ

の暫くは、大人ぶった夜の生活を楽しむことになるのですが、当時の大学生の遊び方は今とは違って今から見ればダサいもので、パチンコ、マーじゃん、ビール、お酒、たばこ、が主に粋な遊びに入ってきて大学の向かいには雀荘がかならずあつたものであつた。

今ではそれほどでは無いようですがマーじゃんとたばこ【モク】は悪ガキ間の必須条件になっていた。

実は5人組は

【S君、Y君（茶道藪ノ内流の次男坊）、O君（名古屋日産自動車）とお清君の離れの部屋に集まって麻雀をやっていたのですが、何故かじつとして座っているのが嫌いでお生だけいつもチョット行ってくるわと飲みにでかけて、皆が疲れた頃に土産をもって帰って再び皆とラーメンを食べに行くというようなパターンで過ごしていたように記憶が蘇って来ます。

で、若いころから夜の街のママさん達には、養子縁組で大澤病院の副院長になっていたM兄貴の影響もあり、中でも卒業式の後で家に帰る前に一番に、在学中はお世話になりましたと、クラブHのママさんに卒業証書を持参して、祝ってもらつたのですが、【そこのかわいいママと関係があつたのは皆さんにばれていたのでは】そこで気にいってもらつたママさんに頼まれ住み込みの女子達の風紀が乱れないようにと病院の近所の中京区御幸町の女子寮の管理をチイまと一緒に想像以上の楽しいハーレム生活を送つたのでした。

しかしながら、言い訳ではなくただ単にだらだらと無駄な青春時代を過ごしていたわけではなく、楽しみながらそれぞれの女らの苦勞話を聞かせてもらいながら、これからの自分自身を見据える知恵と方法をごく自然に得ているのを自覚していました。

話しが少し変わってきますが

皆それぞれすでに社会人であつた彼は実家の仕事としての業務に多忙であつたが、当時のことを思いだしてみれば京都仏教会が京都市と観光税の問題で大もめになつた時の彼の社会人

としての凛とした姿は当時の同年代の他の若者たちとは少し違つていました。それは、同志社という学校の校風と家庭的な状況が経済的に恵まれていたということと、姉と妹の間に男子が一人で寺の跡継ぎという立場で、彼が仏様の道を歩まねばならない【彼の場合クリスチャンは無理ですから】という事もあつて深いところでは我々とは異なるお考えかあつたのでしょうか今更ながらいろいろな意味で仏様には感謝せねばなりません。

皆記憶は薄れつつあると思いますが、当時のことを大まかにいえば観光税に関して行政側の【この言い方は良くなすが、行政側からすれば拝観料の一部を京都市の整備に使わせてくれという事であり】

この安易な考え方に対して

拝観料は信者様からいただいている大切なお布施であつて宗教上の問題もあるので、断固反対するという仏教会の理事四天王の代表者としての権威ある堂々とした対応をテレビの画像を見ていてあらためて彼の芯の強さに惚れ直したのである。

【古都保存協力税について】

1985年3月10日に当時一旦市長と京都仏教会との間に和解が成立するが1985年12月に再び京都仏教会とのあいだに亀裂が入り拝観停止となる。問題解決にあたって今川市長に仏教会側は三協西山氏に交渉役依頼をして1986年3月31日に拝観停止を一旦解除した。

その後、京都地方検察庁が和解条件として、利益誘導がなかつたとして不起訴の決定をした。

その結果、1987年5月1日には拝観停止が解除され現在にいたる。

さて

K君のもう一面は小生と同じく自動車好きであつた。

さて、彼とは青春時代の真つ只中を共に過ごしてきた仲間であり、彼の鈴鹿サーキットでの活動に関心のない方には馬の耳に念仏でありま

しょうが、彼が走った鈴鹿での最初の車は、第2回全日本グランプリで生沢 哲が式場壮一郎のボルシェを抜くそのシーンを家のテレビで小生といっしょに見ていたおやじが【なおしこの車は素晴らしいすぐに買いなさい】と絶賛したハコスカの2000GTB 彼もすぐにまたこの車を購入してシンプルなグリーン塗装にして、当時の日産自動車としてはとってもセンスのいい最強セダンプリンススカイライン2000GTB、姿はより映えました

ある休日に鈴鹿サーキットに行ってみるとあまり学生時代には交流がなかったM君がいすゞベレットGTで彼の後を走り回っていたのでびっくりしたのです【余談ですが、のちに彼の美しい奥方の命を救う手術をしたことはこれがきっかけであった】

彼の話に戻るが彼の走りは、何時も好良くシングルでマイペースで追い詰められず追い詰めず全く危険な状況に持ってこないように坦々と走っていたのですが、それは今となれば、彼一流のスタイルであって、その年の自動車雑誌に【スポーツ車部門】全日本選手権5位の成績をAライセンス取得後2年目にして記録を残していたのには感動してしまいました。

その頃、こちらは医科大学での専門教育の内容の理解への努力と、女性のお世話で忙しく同級生で、名古屋日産自動車の販売部門にいたO君、例のS君、が彼に付き合って面倒を見てくれていたのですが、スポンサーなしでは無理な事はスポーツタイヤだけでも1レースにつき、かならず最低2セット必要ですがこれが1セット40万円はかかり、小生の例の極道者の2番目の兄貴がやっていたガソリンスタンドを通じて購入していたのですが支払額は相当な高額になっていた様です。

尚、彼の名誉のために為に最終的には父上が負担され借金は0でした。

勿論、小生も応援していましたからレーシングカーとして改造された車をサーキットにお連れするのに必要ないすゞ自動車の2トンのロングボラックを東京の兄貴に頼んで中古車を探し

てもらって、車好きで小生同様現役で現在も産科病院の理事長をやっている【U君：同志社高校 京都西京大学経由で関西医大に行っていた】と二人で東京に取りに行ったときに深夜になってしまい、駅前交番の紹介で泊まった沼津の女郎屋さんのあとの旅館のトイレで夜中に壁にでてきた巨大な女郎蜘蛛に悲鳴を上げた彼の思い出がある。

持ってきたトラックは、風情があまり良くないので家においておけず医大の自分のスペースに駐車しておいたのですが、彼が車を取りにきた時、そのころはもう臨床実習中で白衣を着たまま迎えに出たら、彼が、『チョコほんまの医者にみえるで』と、ぬかしていたので、『雷族のやくざ坊主にそれはいわせへんで』と二人で笑っていたのもいまではいい思い出である。

そんな関係でしたので、彼が寺の後をついでから、小生が妻の父親である楠部の親父が皇室ゆかりの【陶芸家文化勲章受章者】でもあった関係で、信徒総代を【広隆寺が皇室ゆかりの寺院で、聖徳太子の像とされている国宝第1号の弥勒菩薩が祭られており、そうゆう特殊なお寺である】という事を十分理解できていなかったの、あまり重大なことではないと思って安易に引き受けたのであります。

でも、公私共にお世話になった彼の父上、母上様を送らせていただきましたこと今ではありがたく思っています。合掌

小生の人生の中での反省点は数限りなく多く、青春時代には皆と同じようにいろいろとヤンキー的な問題も色々あったのですが、それなりに解決して来たつもりでいたのです。でも玄人女ばかりと生活していたので、親父にはナースもプロの女性でそれについては何かの折には良く止めておけといわれていたのですが、特に外科医は家のことができないというナースに対して偏見があったんでしょう。ここだけのお話として、小生の母親萩は秋田県の大館出身で苗字は鳥潟、教授で鳥潟教授の姪つ子にあたるひとであったから親父も気を使っていたのでしょう。

小生もまたその点では一般のご家庭お嬢さんの純情な気持ちを知らなさ過ぎたためにあまりに放蕩が過ぎてなるべくしてなってしまった問題で母親に心配の種をまいて頭があがらない状態になっていた状況に対し、ある日突然に母の萩さんから『例の件やけど、直、そろそろこれでお終わりにしようか』

と言われて、ああこれで楽になれると思いき『ああ、いいよ』と、なんにも考えずに即答してしまったのです。

【新車のボルシェ一台走らせた件】として悪友仲間では0点の話ですが、やっと小生も女性問題で初めての反省をすることになったのです。こんな話が出るのも80歳となり孫が小さい内に爺の恥を売っておきたいという勝手を許して下さい。

プロの女性ばかりと付き合ってきて普通のご家庭の娘さんと付き合ってきたことではあったが、彼女に買わせて乗っていた白いコロナのクーペのかっこよさにも少しばかりひかれていたのかもしれないのです。

そんな中、話がますます漏れてややこしくなったのは

K君やS君が何時もの調子で、小生がノイヘレンという医者では最多忙の留守に桂の家にやってやはりチョコくんとこのすき焼きは最高ですねとかなんとか言いながら散々肉をたべて母親に乗せられて言わんでもいい話を調子に乗って話した結果だったのです。

でも、悪友として絆は深まって後々の彼らの結婚にもいいアドバイスというより助け舟を何度も出す結果にもなっていたからね。

女性にアマチュアもプロフェッショナルもないんだなーなんて甘い人生観を高齢の爺いが持っていること自体が馬鹿馬鹿しいことであるが、そのパワーの元は健康であってそれをかなえさせてくれている現代社会と後輩の医師たちのおかげと感謝しています。

この話しは、後日談のほうが小生の人生には大きく変化を与えたのですが、親父や恩師I教

授に良く言われていた『君は一つの腫瘍を切除しても根治しない重複痛だからね』などと二度と言わせないように、これ以上心配させてはならないと真面目に考えて、友たちには話が早すぎと言われたが、心を入れ替え結婚して親孝行をするべきであると決心して27歳の時、悪童仲間にも先駆けて第一番に見合いしたのが今日の妻、もんちゃんとの出会であった。

結婚生活は今までの話で分かって下さると思いますが、同志社の同窓であり、色々なことはご法度にしておいてください。

【お互い末っ子同士、我儘者同士が良く金婚式を迎えられたものだと思います。皆様のお影としか思えないのですが、ぜひ皆様もう少し我慢して健康に気を付けて50年の年を迎えてください】

ここでU先生のことも少々書かせて頂きます。

U先生の思い出として

U先生は、ほんまにボンボンで彼とは中学時代からの長い付き合いですが、父上は山口県光市で産婦人科の病院経営が多忙で子供たちの教育については、先の悪ガキ連中とは異なりおじさまが三菱京都病院の院長をやっておられた関係で、学生時代はお姉様とお手伝いさんと阪急電鉄桂駅の西出口を出て徒歩で僅かという便利なところに建てられた白壁の瀟洒なお家にすんでいて、お姉様はそこから神戸薬科大学に通っておられ、彼もまた同志社中学に通って来たのであります。

高校時代みんな周りの悪ガキどもが推薦制度で同志社大学へ行くのですが、家が開業医の場合何とか簡単な方法で医学部に行く手はないかということで、当時はまだまだ戦争中に医学専門学校として出来た4年生制度の専門学校の大阪医大、関西医大などがあって甲南大学の理学部に医学進学コースがあるということ【蛭雪時代】という進学雑誌で知っていたのですが、小生が言うことが信用されず甲南大学へ行ったのは小生一人で【なぜか同志社高校からその年には10人近くの間人が医学部に自分自身の人

生のコースを変更したのに】

担当の先生方も小生の持ち込んだ書類をみたのが初めてで書類作成を自分で勝手にやって出した記憶があります。当時その報告を聞いたおやじはこんなコースがあったんかとよろこんで、A 学長は丁度昔からの京都大学での友人関係だったらしくすぐに息子が君の所で世話になるのでよろしくということになったのです。4月になって同志社から大阪医大にやってきたのはなんと当時の定員64人中5人であった。『なんで来たんや』と聞いたら皆、家が開業している結果、『後を継ぐのが自分にとって一番いい』という結論に達しやってきたとのことでした。

U 君は親の意向で関西医大に行くとのことでしたが、当時の関西医大は大阪医大の3倍の入学金が必要であった。

更に、最後の夏休みにこれまた自動車関連の話しになってしまうのですが、彼がお父様の買ったのトヨペットクラウン57年横目ライトの新車を山口から乗ってきたので、岡山市の後楽園から四国一周8日間の温泉巡りの旅に当時近所に住んでいたファッションモデル二人をマスコットにドライブに出かけて、彼女達の面倒を見ながらではありますが、小生が同じ様な境遇にあったということもあり、自分達の将来の生き方についての夢の様な話をしたのがきっかけであったかもわかりません。

関西医大に在籍中には、おしゃれな彼は、やはり親父さんを口説いてルノー 4CV を真白に塗り替えて乗っていたのですが、この車が悪ガ

キ仲間にも有名な洒落車として、この車に乗りたいがために小生の家によく集まっていた皆が、当時には両親が小生が大学に通いやすいようにとは思えませんが、これまた阪急電鉄の桂駅西口に開発されていた月見ヶ丘阪急住宅開発のクオリティ高い住宅を購入してそのついでに隣地も買い占めて、1000坪の宅地にして温室で洋蘭園を作って楽しんでいたのですが、今考えてみると経済的な余裕がかなりあったんだなあと思っています。あとで聞いたのですがK 君のお母上様は阪急の小林一族の親族関係であると聞いてまたびっくりしたのです。

結局、例の K 君のお寺【太秦広隆寺】の観光バスとは関係のない個人的駐車場と小生の桂駅西口の家駐車場も 6、7 台の車が楽に駐車出来るようになっていたので、皆で集まってワイワイと話すには、親もいて、お手伝いさんもいて、食べる物もある最高のシチュエーションではなかったかと思えます。

これらの悪ガキ仲間の中には S 君という身長 180cm 以上の同志社大学ゴルフ部のキャプテンをしていた彼氏がいたのですが、彼もまた U 君のルノーファンであり、彼が山口に家に春休みで帰っている間自由に使っていていいと置いていった車で走り回っていて、運転席のバックシートの骨組みを折ってしまったのです。U 君に内緒で溶接して直しておいたのですが、彼は何にも言わずに CHOKU さんなんか焦げ臭いねーと笑っていたのを思い出しています。

更には、これらの流れで出てきた同志社な

らではのユニークな【足みじか会、無頼会】などの好き者たちのメンバーの力がかなりあるのかもしれない。

U 君もまた経済的にもご家族にも恵まれていたのですが、神戸薬科大学卒業後に結婚された義兄さんとお父上とはうまくいって無かったのではないかと勝手に思っているのです。

また女もてした、彼の最初の結婚は京都嵐山で知り合ったお金持ちゲンゼのお嬢様であったが、ある時彼の息子さんの芦屋の整形外科医師豪邸紹介がテレビで放映されていたので、懐かしくなって山口に TEL したらもう過去の話になっていたのも、それ以来はこの話はご法度である。もちろん現在の奥様は素晴らしい聡明な方ですから、この間京都にお越しの際には、妻と 4 人で会食して本当に楽しいひと時を過ごさせていただいたし、お嬢様も医学部に進まれています。それより彼の病院の素晴らしいシチュエーションは彼自身のおしゃれな感覚と友人である隈 研吾先生の方にもあっていまの日本の産婦人科病院の中でも有数のものです。

かつて、まだ隈 研吾先生が第一回目に病院を建てた頃にまだ同級生が元気な頃、例のいつもスクールバスで靴ピカ男の Y 君、クラス代表の U 君、中学時代からスキー部仲間の T 君などといった珍しい仲間を彼の招待で大谷山荘に泊めてもらったあとで病院を見学させて貰った時の感激は病院の美しさだけでなく患者さんに対する彼のハートに、更には自動車好きの小生には病院の玄関の横の駐車場にとめてあった

なんとロンドンバスがもう小生のハート♡はダメであった。

彼に後で聞いたところでは、彼がロンドン旅行に行った時にバス駐車場にゴロゴロと駐車されていて売物の中で一番きれいで新車のように輝いて一番高価格【彼らしい】だった一台に惚れてしまったそうです。船賃が体積で決まることを知らなかった彼は、初めての経験で二階建てバスを個人の財力で船賃を払って送ったようだが、購入したバスよりは船賃の方が高かった事は間違いないでしょう。

結局は相当なものであったようです。小生もアメリカ帰りに当時乗っていたマーキュリーターガー XR7 を送った時には 30 万位だったのですからね。

でも彼の凄いところは、2 回目に病院を改築されている間に病院の駐車場に駐車した愛用の大型のキャンピングカーで寝泊まりして楽しんでいた様子である。

キャンピングカーと言っても設備は幅がやや狭いビジネスホテル以上の快適なものでもあります。

Y 君については、大阪お初天神でシェウマイ屋さんで有名な店が繁盛し多忙であったが、若くして新車で購入したメルセデスベンツ 300D を日本国内だけで 100 万 km 走らせ、世界的に認められており、彼の車にはメルセデスの本社から 10 万 km ごとに送られてきたエンブレムが、10 個並んでいるのです。

もう 1 人の U 君は、【宇野】

広告募集！

仁泉会ニュースでは、広告の募集もしております。
ご出稿のタイミングや料金などは事務局までお問い合わせください。

TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenkai.net

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenkai.net

【今となれば実は彼が同志社の特待生であったと、中学から一度も学費を出さずに大学まで行き更には丸紅株式会社にはご優待入社であったことはもう言ってもいいでしょう】

彼も年とともに、腎不全という問題が起って来て心配しています。学生時代には山岳部であった彼が、時々山を降りてきて、『チョコさん2、3日スキー部のメンバーに入れてくれや』と白馬や、野沢温泉、志賀高原などでこちらがスキーに凝っていたころから『吹雪で上にいられへんねん』と言いつつやって来て、当時のごちそうであったジンギスカンを楽しんだ記憶があります。後日彼の親ごさんも亀岡の施設【こもれび】にお預かりしたことも思い出であります。

最後になりましたが、悲しい思い出です。

K君の最後は彼が受けた小学校時代の予防接種が原因でC型肝炎から肝硬変になり、なぜ、かれの病状を救えなかったのが医師としてその結果を知る者としてはそれが見えるだけに残念でもあるのです。

当時の日本を代表するC型肝炎治療の第一

人者であった岡先生には大変お世話になりましたが、京都府立医大の比叡山の見える特別室で11月のある夕方に病室で小生と二人で話しているときに『まだまだやりたかったけど何もかもできずじまいだったなあ』と静かに去っていったのでした。

そんなこんなで、今やこちらも人生もいよいよ80歳を超えて、コロナ君のおかげで全ての楽しい会合はなくなりロータリークラブのようにラインで会合ができればいいけど、仲間にはまだガラケーの人もいたりで、皆で会議もできず、そういう自分もかるいパーキンソン病が出てきたりで大学の後輩の神経内科の専門医に見てもらって薬を服薬したりしています。

でも5人の孫の顔を見ているとまだまだ爺は頑張らねばと考えていますが、そちらにいつてヤバイことに首を突っこむのが楽しいのかとも考え中であります。

ところが、コロナ君は小生にとっては、いい働きもしてくれてもっと生きて善行に時間を費やせよという神様のお告げか昨年1年間に、コ

ロナ騒ぎで、社会活動が停止している間すっかり身体のメンテナンスが完了し、元気になれたことは現代医学のおかげだと思います。

昨年3月から9月の間に大腸ポリープの根治的切除、胃癌の根治切除、冠状動脈狭窄、一部閉塞に対する大伏在静開胸によるバイパス手術という一般の者からすればそれだけでも十分に人生の大事と考えてその後はおとなしく過ごすのですが、その後も、元気に理事長の職を全うしており、何気なく経過しており、かえって戸惑っている今日この頃であります。

【1】の付記

何故か、小生のバイクも半年後に終わったのです。簡単に説明しておく、小生の親が運転手付きの当時2台目の横目のCedricだったと記憶していますが、家から風呂桶を持って飛び出してきたオジンを避けて見事転倒してしまい、お互いに怪我はなかったものの、この際はおふくろの手前もあって、おやじも怒らざるをえず、残念ながらホンダ君はガソリンスタンドの寮に引き取られていったのでした。

当時ホンダのアップマフラーは若者のあこがれの的であったが、かれらの給料では絶対に買えないバイクが棚からぼた餅的に、兄貴も社長の人気取りにはもってこいの道具を与えられて、まるで三方よしの結果であった。

当時はまだヘルメットなどなく、風よけにお洒落なスカーフを、サングラスではなくスキー用のゴーグルを日ごろから利用していたのである。

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用させていただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題
字数には制限は設けません。葉書1枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して

会員自身が出される広告は現在100字程度までは無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

（内容により有料の場合があります）

事務局編集係

学26期（昭和52年卒）同期会の延期のご案内

新型コロナウイルス感染症の急拡大のため本年10月23日に開催予定（京都）の同期会を中止させていただきます。改めて1年後の2022年10月に下記の要領にて開催いたします。ご予定の変更をお願い申し上げます。

記

日時：2022年10月22日（土）午後6時より

場所：ホテルグランヴィア京都 5階

（JR京都駅烏丸中央口すぐ 075-344-8888）

詳細については来年5月頃にお知らせいたします。

当番幹事：水谷 均・松本恒司（090-6054-6363）

仁泉ひろば

jinsen-park

ヘアターニケット
児相による誤認保護の顛末

文責／鈴木廣一（学29期）

はじめは、「子どもが児相に保護されたんですが、相談にのってもらえませんか」という、堺市に住む若い父親からかかってきた一本の電話でした。

両親が2歳半の男の子と一緒に寝ている間に子どもの服のファスナーに母親の髪が絡み付いて首に巻き付き、そうとは知らずに母親が起き上がろうとしたために線状の傷がついて、保育園からの通報で児相に保護されたとのことでした。虐待ではないと訴えても児相は信じてくれず、子どもにも会わず、居場所すら教えてくれなかったそうです。ひと月後に、「施設への入所に同意するなら子どもに会うことができる」と言われ、母親は子どもに会いたい一心で入所を認めようとしますが、言いなりになるのはおかしいと思い直し、虐待ではないことを自分たちで証明するしかないと考えて私に電話をかけてきたようです。気の毒に思い、来てもらって詳しい話を聞きました。

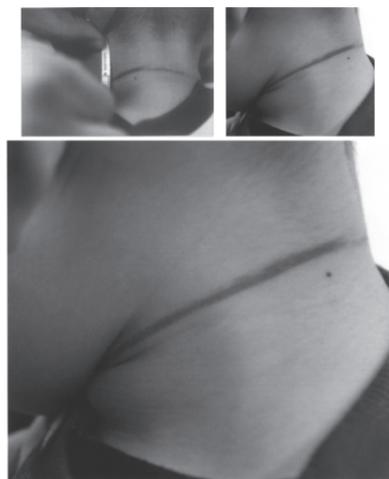
両親が子どもの傷をスマホで撮っていたので、それを見て`hair、と`strangulation、をキーワードに検索すると、`Accidental childhood strangulation by human hair`という論文がInternational Journal of Pediatric Otorhinolaryngology 誌の2005年69巻に掲載されているのわかりました。そこに、そっくりな写真が載っていたのです。この事案も当初は虐待を疑われたようですが、毛髪の強度等の検査も含めた詳細な検証実験が行なわれ、頸部損傷は就寝中に母親の頭髮が巻き付いて生じた偶発的な事故で、虐待ではないと判明しています。

早速、堺の児相に電話をし、翌日、論文のコピーを持参して男児の傷はヘアターニケットによるものだと説明しましたが、児相の弁護士に、



米国で発生した類似例の検証論文
(International Journal of Pediatric
Otorhinolaryngology誌2005年69巻
1621-1628に掲載の図)

「酷似例があるからと言って、男児の傷も髪の毛が巻き付いてできたという証明にはならない」と一蹴されました。教室で再現実験をして意見書を提出しても児相は保護の適否を見直さず、もはやこっちも弁護士に頼るしかないと思って、えん罪救済センターの副代表を務めておられる甲南大学法学部の笹倉教授に児相の誤認保護問題を扱っている弁護士を紹介してもらいました。



虐待が疑われる場合（実際には、虐待かもしれないとの通報があれば）、児相は子どもを二カ月間一時保護できることになっています。その後、堺の児相は児童福祉法33条5項に基づいて家裁に保護の継続を申請し、認められます。両親はそれを不服として高裁に抗告。しかし、

児相はそれを見越し、高裁で児相にとって不利な判決が出るのを危惧してひと足先に家裁に児福法28条1項(虐待保護)の申し立てをしました。児福法33条5項には、28条1項の申し立てがなされている時は引き続いての一時保護に家裁の承認は要しないと規定されています。よって高裁は、`28条1項の承認の申し立てがされたことから保護の継続については家裁の承認を要しなくなったため本件抗告は不適法である、との理由で両親の抗告を却下。「えっ!」と思って、児福法を何度も読み返しました。「そんな裏技を使うのは姑息だ!」と怒りすら覚えましたが、これは児相の常套手段だと、あとで知りました。

児相の弁護士はほくそ笑んでいたのですが、高裁は私の意見書の内容を認め、子どもの安全のために母親が髪を切ったことも考慮して、`引き続き一時保護を行なう必要があると言えるだけの事情は認められない、と、抗告却下の判決文に書き添えてくれました。そのおかげで、家裁が子どもをひとまず祖父母の家に帰すことを提案します。児相も家裁の提案を受け入れましたが、子どもが両親のもとに帰ってきたのは一時保護の一年後でした。この事案は本年2月11日の関西テレビ「報道ランナー」で取り上げられて、私もインタビューに応じました。

刑事事件では「疑わしきは罰せず」が原則ですが、児相は「疑わしきは保護」の方針を採用しているようです。東京や千葉で女児の虐待死が相次いだことを受けて厚労省も児童虐待防止対策を強化し、「虐待かもと思ったらすぐに通報を」と呼びかけています。ちなみに、通報の電話番号は「189 (いちやく)」で、匿名の通報も受け付けています。

虐待防止や子育て支援に関する児相の取り組みは評価しますが、堺の児相とのやりとりを通して、児相は「虐待かも」という通報があれば、とにかくいちやく保護して、その後は「虐待ありき」でフローチャート通りに手続を進めていくのだと気づきました。ただ、そのフローチャートには、保護したあとで「虐待の有無と

保護の可否を検討する」という、最も重要な項目が抜けているのです。人手不足でケースごとの丁寧な対応ができないのかもしれませんが、最大の問題は組織の流儀に凝り固まっていることだと思います。

残念ながら、われわれ医師に（一部の医師に）問題があるのも事実です。今回、堺の児相が保護の根拠にしたのは、児相が常に相談を持ちかけているために虐待問題に詳しいとされている医師の、「髪の毛が巻き付いて生じた傷とは考え難い。しかし髪の毛が巻き付いて生じたと仮定した場合…(中略)…死に至る危険性も考慮される」という理解し難い意見書でした。前述の「報道ランナー」は虐待冤罪や児相の問題を追いかけていて、明石市や池田市で起きた誤認保護の事案も以前に取り上げていましたが、明石や池田の児相が保護の根拠にしたのも、虐待問題に詳しいとされている医師の、不十分で、かつ医学的に間違った意見書です。

そういう意見書が提出されたのは、医師が「虐待を見逃してはいけない」という思いに引きずられて、「虐待ありき」の思考に陥ってしまったのが原因のような気がします。「報道ランナー」の担当記者も、「専門家であろうと、個人では先入観や思い込みから逃れることができないことを前提に、どうしたら逆の立場でチェックできる仕組みが作れるのかが問われているように思う」と述べています。

虐待は許されることではありません。しかし、長期に及ぶ親子分離が親子双方に与える影響の大きさを考えると、虐待と同時に冤罪も誤認保護もなくさなければなりません。法や制度が壁のように立ちはだかっていることを思うと無力感に苛まれますが、明るい兆しもあります。明石市は「報道ランナー」の放送後ただちに誤認保護事案の検証をして、一時保護後2週間以内に保護の妥当性を検討する全国初の仕組みを構築し、4月から運用すると発表しました。私も、虐待の防止と冤罪や誤認保護をなくすために自分に何ができるか考え続けたいと思っています。

事業報告 学生生活虎の巻 その九

卒業生と学生の交流の場が設けられました！

編集部がレポート！

2021年1月23日(土) 学生生活虎の巻が開催されました。学生の実行委員会が企画をし、仁泉会と大学が共催するこのイベントも今回で9回目。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインミーティング専用アプリ「zoom」を使い、オンライン上で実施。卒業3年目の先生が学生に向けて、初期研修の内容を話していただきました。ここではお話を要約したものを紹介します。

プレゼンター 平林知子先生 (学67期)



大学病院での研修環境について

私の場合、初期研修1年目は内科、その後産婦人科や外科系、麻酔科、救急などを回りました。2年目は地域医療に行きまして、4科ほど回った後、最後の半年は産婦人科で研修させてもらいました。大阪医大で研修をしたので同期が多く、55人もいました。その中で9人の班を作り、ローテーションでそれぞれの科を回るようになります。仕事終わりが同じ時間になることが多かったので、一緒にごはんを食べに行ったり、旅行に行ったりなど楽しんでいました。2年目は自分で科を選んで回ったので遊ぶ機会は減りましたが、今も仲良くしています。そういう仲間が多いのは、出身大学の大学病院ならではの事かなと思います。

臨床研修室は結構広くて、個人用の机とロッカーがあり、シャワー室や当直室などもあります。何より研修医専用の部屋なので、みんなでワイワイできることが良かったですね。働き方についてですが、基本的には平日と奇数週土曜日の午前中が勤務日になります。当直は科にもよりますが、週に1回から1・2ヶ月に1度ほどです。

給与面ですが、大学病院は総じて低いという話も

ありますが、その中ではしっかりいただいていたかと思えます。給与で研修先を選ぶのもどうかと思いますが、モチベーションにもなりますので、初期研修先選びの際は、待遇面を確認することも大事なのかなと思います。

具体的な研修の内容についてです。科によってどのような研修になるかは大きく変わりますが、大学病院の場合は症例が豊富なので、貴重な体験ができることも多いです。あと地域研修に関しても大学病院の場合、候補先が多いのも特徴です。私は北海道の別海町というところに行ったのですが、地域住民が医療に求めているもの、医療側がどのような医療を提供できるのかなど、考えさせられることが多かったですね。

私が産婦人科を選んだのは、患者さんに「おめでとう！」と言える唯一の科であるということと、科の中でも進路が豊富なため長く続けられそうだったということです。特に大阪医大の産婦人科は婦人科腫瘍に関して全国トップレベルの症例数があり、手術件数も多いことが自分の成長につながるのかなと思っています。

プレゼンター 直 聖一郎先生 (学67期)

研修病院、
大学に残るか、外に行くか？



大阪医科大学産婦人科
直 聖一郎

実業は良いとこ一度はおいで

僕は大阪医大を卒業後、兵庫県の宍粟総合病院というところで研修をしていました。なぜ宍粟に行ったかという、6年生の時の選択実習で行ったのですが、その時の実習がかなり楽しくて、ほぼ全員の先生とお話することもできましたし、ここでじっくり学びたいと思ったからです。1年目は内科と外科、2年目は産婦人科、小児科、泌尿器、放射線などを回りました。医局がワンフロアに集約されていて他科の先生との垣根が低く、コンサルテーションがしやすかったのが大学病院との大きな違いです。それに研修医の人数も少ないので、上の先生もよく見てくれたのも喜びになりました。また宍粟総合病院では、雑務が少なかったのが、大学病院に戻ってからは雑務が多く覚えるまでいろいろ大変でした。

学生の皆さんへのアドバイスとしては、いろいろな科がありますが、研修病院を選ぶ際には選択肢を減らさない方がいいということです。もうひとつは、見学に行くとすごくいい病院だなと思っても、自分が研修に行く時には見学の時に会った上の先生や研修医の先生たちが異動になっていることがあるということ。そのあたりも考えながら慎重に選んだ方がいいと思います。

最後に産婦人科はとても楽しい科なのでぜひ産婦人科医に！！(笑)。

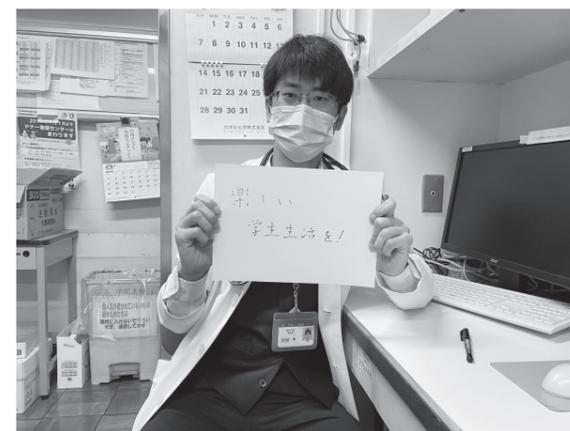
プレゼンター 別役 翼先生 (学67期)

教育施設としてはトップレベル

僕は初期研修を聖路加国際病院の内科系で学び、今は京都大学膠原病内科に所属し、派遣として天理よろづ相談所病院で勤務しています。マッチングは7病院ほど受けたのですが、聖路加を選んだ理由は、人気があったからです(笑)。

初期研修1年目、2年目とも内科系を中心に、かなりの科を回らせていただき充実していました。レジデントの体制も充実していたので勉強になりましたね。ハード面で言えば、昔からあるゴシック建築的本館、1992年に建てられた新館、もうひとつ47階建ての聖路加タワーというのがありました。パソコンが2画面あるというのも聖路加のウリのひとつだと思っています。

研修のスケジュールは大体6時ごろに出勤して、回診、カンファレンスや経過表をチェックすることから始まって、19時から23時ごろまで勤務すると



いった感じでした。あと教育カンファレンスがすごく充実していることも聖路加の特徴と言えるかもしれません。その他にもこまごまとしたイベントがありまして、他職種研修や地域研修、オリエンテーションなどです。遠方の地域研修は壱岐や鹿児島が人気でした。

主観ではありますが、聖路加は日本で最も整っている教育施設の1つだと思います。プログラムにおいてもほぼ全ての診療科をローテートすることができます。また、主体的じゃなくても勝手にレクチャーがやってくるので、実力は上がります。ただし給料は安いです(笑)。





会員著書



時間軸で捉える血算 線で考える

著者：岡田 定 (学30期)
 出版社：中外医学社 価格：¥2,400+税

私は、2020年3月に聖路加国際病院を定年退職し、同年4月から西崎 統先生(学16期)の西崎クリニック(東京都中央区月島)に勤務しています。

本書は、臨床検査の中で最も基本的な「血算」の解説書です。

一般臨床医の視点で、血算を見たときに「どう解釈するのか」、「その疾患にどう対処すべきか」、「専門医に紹介すべきかどうか」について解説しています。

私は、「誰も教えてくれなかった血算の読み方・考え方」(医学書院)をはじめとして、いくつもの血算の本を上梓してきました。その多くは、時間軸の一点で血算を解釈する本でした。疾患の「病期」や「進行速度」によって、「血算がどのような変化をしてきたのか」、「今後どのように変化するのか」という動的な変化については、あまり言及しませんでした。

「疾患」と「血算」は、一対一で固定したものではありません。疾患は動的に変化し血算も動的に変化します。本書では、「疾患の変化による血算の動きを線で考える」、則ち「診断のなかに時間の次元を組み入れる」ことを試みました。

会員の先生方に何かのお役に立つかもしれないと考え、「内科医の私と患者さんの物語 血液診療のサイエンスとアート」(医学書院)と共に、ここにご紹介する次第です。



内科医の私と患者さんの物語 血液診療のサイエンスとアート

著者：岡田 定 (学30期)
 出版社：医学書院 価格：¥2,500+税

本書は、医師、できれば看護師の方にお読みいただきたいと考え、執筆致しました。一般書のような医学書です。

医者であるためには専門的な知識や技能が必要です。現役であり続けるためには、知識や技能のブラッシュアップが欠かせません。ただ、私達をほんとうに支えてくれるのは、単なる知識や技能ではないはずです。

臨床医である私達を心の底から支えてくれるのは、患者さんとの人間的な交流によって、感動し、発見した経験ではないかと考えます。唯一無二の「患者さんの物語」に巻き込まれ、一人の人間として心揺さぶられた経験です。

医者になって40年が経ちました。多くの患者さんにお会いしましたが、自分を本当に支えてくれたのは、この「患者さんの物語」だったと思います。

医療は科学的根拠のあるサイエンスが基本になります。でも、血の通った医療を行うには、サイエンスだけでは不十分なのです。アートも必要です。アートとは、「科学を患者にどう適用するかというタッチの技」(日野原重明)です。The practice of medicine is an art, based on science.

・・・このような思いを込めました。

会員の先生方にも何かのお役に立つかもしれないと考え、「時間軸で捉える血算 線で考える」(中外出版社)と共に、ここにご紹介する次第です。

東雲出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



神様の御用人
 著者/浅葉なつ

ある日神様たちの御用を聞いて願いを叶える御用人に選ばれた良彦が狐神の黄金(こがね)と一緒に各地の神々に会い願いを叶えていく物語である。

ここで疑問に思う人がいるかもしれない。多くの人は神様ならどんな願いでも叶えてくれるような存在だから願い事があるのはおかしいのではないか、と。

人々は神に感謝の気持ちを捧げることによって神の力が強まり人々はその恩恵を受けているという共生状態であった。しかし時代が流れるとともに人々は自分の願いごとをするようになり神の力が弱まり願い事を叶えることが難しくなった。それを解決していくのが御用人である。

この本では神様について学ぶとともに、身近に感じる事が出来るものとなっている。この機会に初詣などでお世話になっている神社などで祭られている神様のことについて知るのもいいのではないだろうか?そして慌ただしい現代社会を過ごすうちにどこかに置き忘れてしまった感謝の心を拾いに行くのもいいのではないだろうか?

文芸部4年 ころ

新聞 切抜

「高齢の患者が大半で、関心も高い。安心して接種できる態勢を整えたい」と話す一ノ名正院長（1日午前、大阪市大正区で）



高齢者ワクチン

4月から始まる新型コロナウイルスの高齢者向けワクチン接種で、多くの自治体で接種の場となるのが地域の診療所だ。予約の受け付けから接種後の経過観察まで新たな業務が加わるが、医師やスタッフの数は少なく負担が増す。「密」を避ける対策も必要で、課題は多い。

（有留貴博、岡信雄）

休診日も対応
ワクチン接種について、大阪府はインフルエンザの予防接種を実施する約2200の医療機関での実施を目標とする。現在、大阪府医師会が個別接種への協力が可能かどうかのアンケートを実施中だ。

大阪市大正区の一ノ名医院の一ノ名正院長(65)もワクチン接種に協力する考えだが、スタッフは院長と看護士2人、事務職員5人の計8人。地元のお年寄りを中心に1日70人前後が来院し、ワクチン接種を通常診察と並行して実施するのは人手面で負担が大きい。

ワクチンの個別接種会場となる予定の三尾院長の医院では、経過観察などを行うスペースの確保が課題だ（2月下旬、東京都葛飾区で）

「密」対策が必要・通常診療と両立

スタッフの増員は難しく、土日などの休診日にも接種することを検討している。高齢者らの不安を取り除くため副反応などの丁寧な説明が必要で、問診も通常より時間がかかることが予想される。一ノ名院長は「より多くの人がワクチンを打つことが、コロナ以前の日常を取り戻すことにもつながる。少しでも接種が広がるよう協力したい」と話す。

東京都葛飾区の「三尾医院」では、三尾仁院長(60)のほか、看護師3人と事務職員2人の態勢で対応。ワクチン接種後、経過観察のため一定の時間、院内に待機してもらう必要があるが、スペースに余裕はない。15人ほどが座れる長いすべを据えた待合室は、新型コロナウイルス対策で利用人数を絞っており、診察室や受付裏の通路の一部も待合スペースに使っている現状だ。

三尾院長は「小さい診療所では『密』となりがちな。スペースの確保は頭が痛い問題だ」と語った。

★★★2021年3月1日（月）付け読売新聞夕刊に一ノ名正先生（学31期）の記事が掲載されました。★★★

診療所 接種へ苦心

新聞 切抜

17 企画特報 面 2021年(令和3年)3月3日(水) 毎日新聞



感染症対策のため、セミナーは講評だけで実施された一大阪市内で

第25回耳の日セミナー 耳の健康を考える

3月3日の耳の日に向けた「第25回耳の日セミナー 耳の健康を考える」（大阪府耳鼻咽喉科医会、日本耳鼻咽喉科学会大阪地方部会、毎日新聞社主催）が開かれた。今年は感染症対策のため講師のみでの開催となった。テーマは補聴器。池田知隆・元毎日新聞論説委員が司会を務め、聞こえる生活を続けるポイントを4人の医師に解説してもらった。【安部拓輝】

予防や治療の知識を

大阪府耳鼻咽喉科医会には開業医を中心に約700人が所属し、聴覚障害の予防や治療を巡ってさまざまな活動を行っています。3月3日の「耳の日」と8月7日の「鼻の日」にはセミナーを開催しています。大阪市西区の中央急病診療所では、急な耳や鼻の病状のために会員医師が年中無休で対応していますので、ご利用ください。

大阪府耳鼻咽喉科医会
川寄良明会長

加齢以外の難聴

「耳の聞こえの悪化は加齢によるものが多いが、近年は加齢以外の原因による難聴も増えています。その中でも、突発性難聴は急激に聴力が低下する病気です。突発性難聴の原因は不明ですが、ストレスや疲労、感染症などが関係していると考えられています。早期発見・早期治療が重要です。突発性難聴の治療にはステロイド薬や血管拡張剤などが使われます。また、聴覚補助器具や人工内耳などの治療法もあります。突発性難聴の治療には、早期発見・早期治療が重要です。突発性難聴の治療には、早期発見・早期治療が重要です。



広がる新生児向け検査

1カ月以内に聴力を判定し、聴覚障害の有無を早期に発見することが目的です。聴覚検査は、新生児の聴力を判定するための検査です。聴覚検査は、新生児の聴力を判定するための検査です。聴覚検査は、新生児の聴力を判定するための検査です。聴覚検査は、新生児の聴力を判定するための検査です。

医療機関で正しい診断を

「耳をいたわる難聴」は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。



太田有美医師

進化する補聴器

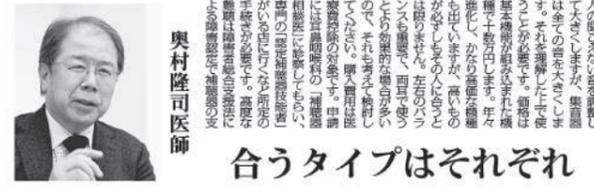
「耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。」

デジタル化で高性能に

デジタル化された補聴器は、高性能で、耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。

合うタイプはそれぞれ

補聴器は、耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。



奥村隆司医師

補聴器は、耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。耳の聞こえが悪くなる病気は、耳の聞こえが悪くなる病気です。

★★★2021年3月3日（水）付け毎日新聞に奥村隆司先生（学31期）、東川雅彦先生（学34期）の記事が掲載されました。★★★

新聞切抜

子どもの脱毛症
子どもの脱毛症では、「円形脱毛症」と「抜毛症」の患者が外来に多く訪れます。円形脱毛症は、頭髪に円形か楕円形で境界がはっきりした脱毛斑ができます。脱毛斑の数が増えれば、互いにくっついて大きくなり、髪の毛が全てなくなる場合もあります。進行期には、まゆ毛やまつ毛など、頭髪以外も抜けます。毛をつくる組織「毛包」が一時的な免疫異常で攻撃されるのが原因で、精神的、肉体的なストレスが契機になるとされ



ます。多くは自然に治りますが、髪がほとんど抜けるか、軽く引くだけで髪が抜けるようになれば治療の対象になります。治療では、血流を増やすカルプロニウムや、ステロイドを塗るか、炎症を抑えるセファラジンやグリチルリチン、抗ヒスタミン薬などを内服します。治りにくい場合、化学物質でわざと皮膚炎を起こす局所免疫療法が特に幼い子に有効で、10歳以上には紫外線を照射する治療法もあります。いずれも免疫異常の抑制効果が期待されます。

一方、無意識に髪を引っ張ることで手が届く場所に脱毛斑を生じるのが抜毛症です。「抜毛癖」とも呼ばれ、発症が幼児期なら徐々に軽快します。しかし、学童期以降では家庭や学

校でのストレス、欲求不満などが誘因の難治例が多く、時にメンタル面のケアが必要になります。境界が不明瞭で、形が不ぞろいの脱毛斑が多発する場合は、ホルモン異常や膠原病などを伴っていないか血液検査で確認します。脱毛症の子は劣等感やストレスによって脱毛がさらに悪化する悪循環に陥るので、数か月で改善しなければ皮膚科専門医を受診してください。

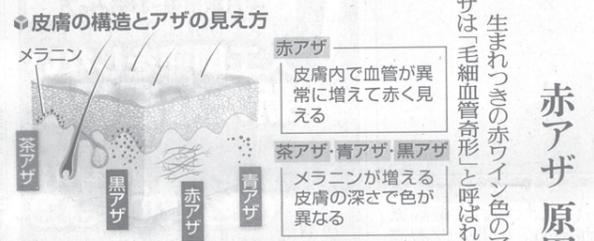
皮膚のトラブルでは、大阪医科大学大森脇真一教授(59)に写真(聞き手・東礼奈)

★★★2021年1月27日(水)、2月10日(水)付けの読売新聞夕刊に森脇真一先生(学35期)の記事が掲載されました。★★★

子ども

脱毛症進行すれば治療

皮膚のトラブル
今回から皮膚の色の変化を3回に分けて解説します。初回は、赤ちゃんと見られる赤、茶、青、黒色のアザについてです。赤いアザは皮膚の血管異常が原因で、額や眉間、首の後ろにできる淡い紅色の「サモンパッチ」は自然に消えます。生まれた直後に真っ赤な斑が生じ、徐々にイチゴのように盛り上がり、くれば「乳児血管腫」です。多くは学童期までに消えますが、レーザー治療も有効です。大さじか、出血しやすいものには内服薬を使うことがあります。



赤アザ原因は血管異常
生まれつきの赤ワイン色のアザは「毛細血管奇形」と呼ばれ、生涯消えませんが、レーザーで治療できます。目の周りに広範囲に見られる、目や脳の異常を伴う難病「スタージ・ウェーバー症候群」の恐れがあります。赤色以外のアザはメラニンという色素が皮膚内で増えて生じ、その深さで色が決まります。茶アザは「扁平母斑」で、1歳までに現れます。大きさが5mm以上で薄茶色のアザが全身に6個以上あれば、「レックリングハウゼン病」という難病の初期症状かもしれません。生後1か月までにお尻に見られる青アザの蒙古斑は10歳頃までに消えます。お尻以外にでき

る「異所性蒙古斑」や、1歳までに片側の目の周りや頬に生じる「太田母斑」にはレーザー治療が効きます。黒アザの多くはホクロです。ただ、5歳以上か、全身に多くある場合は脳内病変や、がん化のリスクもあります。アザは見た目が気になります。が、外来では個性だと説明しています。学童期には、いじめを防ぐため、担任の先生に事情を伝えておくことがよいでしょう。

皮膚のトラブルでは、大阪医科大学大森脇真一教授(59)に写真(聞き手・東礼奈)

冊子切抜

兵庫県皮膚科 美容皮膚科 皮膚外科 アレルギー科
皮膚科 芦屋柿本クリニック

院長 **川畑 香** 先生
かわばたかおり ●大阪医科大学卒業後、同大皮膚科学教室で研修。'96年皮膚科柿本クリニック開業。日本皮膚科学会会員、日本皮膚外科学会会員、日本美容外科学会(JSAPS)会員。

先生のここがすごい
ヒアルロン酸注入による
シワ治療の、草分けのひとり

ヒアルロン酸の注入で法令線が目立たなく

法令線など口元のシワの治療として、レスチレン(ヒアルロン酸の一種)を注入。深く長い法令線が、明らかに目立たなく。その後、ゴルゴラインの治療に取り組む予定だそう。1ml ¥50,000

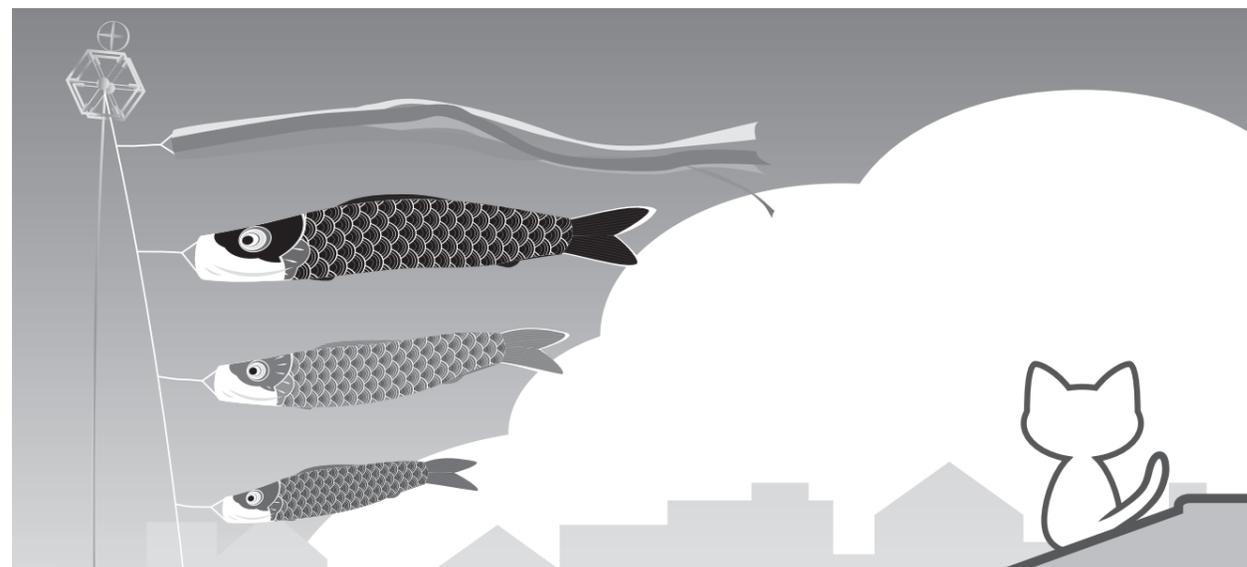
Clinic Data
④兵庫芦屋市春日町24-8ゲマインショップ
下町2F ☎0797-34-0400 ●完全予約制
●Qスイッチレーザーによるシミ治療1回 ¥8,000~10,000 くらい、ライト
BOTOX 顔面・額・目尻1か所 ¥10,000

★★★「美容医療に精通したジャーナリストが指南美容医療正しい見分け方、選び方勉強熱心で経験十分、未来を託せる美容医療の名医9(小学館「美的GRAND2021年春号」)に川畑 香先生(学39期)の記事が掲載されました。★★★

メディア掲載・書籍発行の際は
編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenkai.net



まんが49

ぼん太カード (学31期)

平熱



集まる



みんど



本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医20期 植田利雄先生

令和3年2月6日クモ膜下出血の為ご逝去 (92歳)。昭和26年卒。

昭和30年より布施市(現東大阪市)長瀬にて産婦人科をご開業になり、平成25年に閉院されるまでのながきに亘り地域医療に貢献されました。ご遺族 長男 政嗣様(学31)

高医20期 村上不二雄先生

令和2年11月29日急性骨髄性白血病の為ご逝去 (95歳)。昭和26年卒。

卒業後、京都大学衛生学教室にて学位を取得されました。昭和34年に尾道市にて産婦人科をご開業になり、平成に入ってからには内科・産婦人科の開業医として令和2年9月まで地域医療に携われ、ほぼ生涯現役を貫かれました。ご遺族 妻 三従様

学部1期 忠岡 紀先生

令和1年10月8日老衰の為ご逝去 (92歳)。昭和27年卒。

卒業後、奈良医科大学に勤務されました。昭和34年3月にご退職後、同年12月より奈良県磯城郡にて外科・内科をご開業になり、地域医療に尽力されました。ご遺族 妻 ひろ子様

学部1期 水野堯之先生

令和3年2月26日老衰の為ご逝去 (92歳)。昭和27年卒。

昭和34年に京都市中京区にて水野医院(内科)をご開業になり地域医療に貢献されました。

ご遺族 長男 雅之様

学部3期 鉄田 寛先生

令和3年3月15日多臓器不全、細菌性肺炎の為ご逝去 (91歳)。昭和29年卒。

大阪市阿倍野区にて内科をご開業になり地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 長男 徹様

学部5期 佐藤充男先生

令和3年2月21日敗血症の為ご逝去 (89歳)。昭和31年卒。

昭和32年8月より松江赤十字病院内科に勤務された後、昭和37年5月に松江市和多見町にて佐藤内科医院を継承開業されました。(平成17年11月に同医院天神町に移転)また、松江南ロータリークラブ会長、島根県医師会会長をお務めになり、地域医療に貢献されました。平成15年に旭日双光章を受章されておられます。

ご遺族 妻 順子様

学部5期 田淵義明先生

令和3年2月16日老衰の為ご逝去 (90歳)。昭和31年卒。

加古川市にて耳鼻咽喉科をご開業なり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 長男 健彦様

学部6期 水野理晶先生

令和2年2月26日不整脈、心不全の為ご逝去 (87歳)。昭和32年卒。

高松市にて水原医院(整形外科)をご開業になりました。また、平成28年4月からは大西病院(琴平)で勤務され地域医療の為に尽くされました。

ご遺族 次女 福田宏美様

学部8期 串田俊郎先生

令和2年11月26日肺炎の為ご逝去（87歳）。

昭和34年卒。

卒業後、母校整形外科医局に入局されました。

その後尼崎市にてご開業になり、86歳になられるまでのながきの亘り、地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 菊子様

学部27期 鶴保敏男先生

平成21年7月25日前立腺癌の為ご逝去

（58歳）。昭和53年卒。

交野市にて内科をご開業になり、地域医療に携わっておられました。

ご遺族 妻 浩美様

学部29期 杉山修成先生

令和3年2月9日低体温症、右後頭葉皮質下出血の為ご逝去（75歳）。昭和55年卒。

昭和58年より大阪中央病院にて、平成11年よりうめだファティリティークリニックにて産婦人科医としてご勤務になり、地域医療に尽くされました。

ご遺族 妻 泰子様

編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和3年度 10,000円

令和2年度 10,000円

令和元年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願ひ致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●52巻4号（令和3年7月1日発行）

締切 令和3年5月末日

●52巻5号（令和3年9月1日発行）

締切 令和3年7月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail：jimu@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

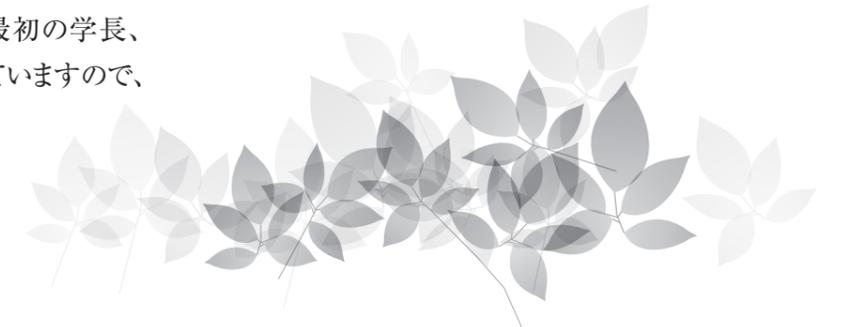
編集後記

COVID-19の終息がまったく見通せない状態ですが、同窓諸兄姉にはいかがおすごでしょうか。感染症対策の最前線、後方支援、ワクチン接種への協力などそれぞれの立場で医師としての役割をしっかりと果たしておられると存じます。

さて、母校はこの4月に法人組織のみの合併であった二つの大学が正式に統合を果たしました。今号には、「大阪医科大学」最後の学長、大槻勝紀先生と「大阪医科薬科大学」最初の学長、佐野浩一先生のご挨拶が掲載されていますので、ぜひお読みください。

合併に伴い、新たに学歌が制定されました。作詞は細胞生物学者でもある著名な歌人の永田和宏氏。作曲は数々のドラマや映画の主題曲を手がけてこられた千住明氏です。我々が愛唱してきた「暁映ゆる」は懐メロになってしまうのでしょうか。少し寂しいような気もしますが時代の流れと想い、母校の一層の発展を期待したいと思います。

（治）



地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel:072-761-8434

ハードルをジャンプ!!

補助金も適用出来ますのでご相談ください

患者様・スタッフの安心と安全のために

病院・クリニックの除菌・抗菌サービス

作業料金 25㎡以下 30,000円 26～50㎡ 60,000円
50～150㎡ 1,200円/㎡ 150㎡以上別途お見積り

病院・診療所・薬局・訪問看護ステーションも対応可能

3ヶ月 抗菌持続で長く安心!

天然成分で健康被害なし!!

施工後、ウイルスの数は激減!!

信賴あるキョーマンバイオケミファ(株)の測定器で調査すると施工後50分でこんなにも数値が変動します。

様々な国で承認されている実績のある除菌方法です。

FDA SGS

NaturaCoat

除菌工房 お気軽にお尋ねください!

株式会社エース

tel.0120-25-1030

にっこり とそう